平成２７年度　学習支援計画書

科目名	クラス
国語Ⅱ	電気電子工学科　２年

必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員
必修	履修　2	通年	講義	黒田譜美

キーワード	科目概要
思考力　読解力　記述力	歴史や人間への認識を深め、表現力・認識力を伸ばす。現代文においては人間や自然に関しての深い洞察力に基づく思考内容を、明快な文章構成や語彙力で表現できることを目的とする。古典・漢文では、作品内容を的確に捉え、そこに表れた人間、社会、自然に対する思想や感情を読み取ることを目的とする。

教科書	参考書	関連する科目・資格
①「精選現代文Ｂ」中島国彦、明治書院 ②「高等学校古典Ｂ」久保田淳、明治書院 ③「新訂総合国語便覧」竹盛天雄、	①「書き込み式漢字ベーシック」明治書院	科目：国語Ⅰ、国語Ⅲ、日本語スキルズ、文化・芸術・思想Ⅲ 資格：日本語検定

評価方法　（%）

評価項目	定期試験	小テスト	課題	学習態度			計	学年評価に対する割合
春学期	60	15	20	5			100	25%
夏学期	60	15	20	5			100	25%
秋学期	60	15	20	5			100	25%
冬学期	60	15	20	5			100	25%
学　年　評　価　（評価は春,夏,秋,冬学期で行い、通知表は春,夏,秋,学年評価で示す。）								100

備　考	成績は定期試験・小テスト・課題・レポート・学習態度等を総合的に判断して評価する。

受講上のアドバイス

・ノートは板書したものだけではなく、口頭での説明も書くようにすること。
・課題は必ず実行すること。
・辞書は必ず用意すること。また、辞書を常に引くように心がけ、知らない言葉を確認し、着実に身に付けること。
・対象作品は徹底的に読み込むこと。
・さまざまなジャンルの書物を読むよう心がけること。

科目の達成目標

①	文章の構成・展開の特色を把握し、正確に読解できる。
②	古典文藝を正確に読解することができる。
③	漢文を正確に訓読し、内容を理解できる。
④	
⑤	
⑥	

関連する本校の学習・教育目標	人間性
問い合わせ・質問先	1階104室（教員室）
オフィスアワー	月曜16：30～17：30

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回		授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 （上段：予習・下段：復習）	時間 （分/回）	点検
春学期	第１～２回	読解について	読解の方法を理解できる。		0	
				読解の方法をノートで確認し理解する。	15	
	第３～４回	小説「山月記」Ⅰ	作者の年譜的事実を把握し、理解できる。	作品を読解する。	15	
				語句の整理、作者の年譜的事実を把握する。	15	
	第５～６回	小説「山月記」Ⅱ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第７～８回	小説「山月記」Ⅲ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第９～１０回	小説「山月記」Ⅳ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第１１～１２回	小説「山月記」Ⅴ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第１３～１４回	小説「山月記」Ⅵ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第１５～１７回	小説「山月記」Ⅶ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	作品の要旨をまとめる。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第１８～１９回	小説「山月記」Ⅷ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	作品の主題を設定する。	15	
				作品の総体をノートで確認する。	15	
		定期試験				
	第２０回	答案返却 自己点検	答案返却・解説および修学成果について、自己点検評価する。		0	
				試験を再検討する。	15	
夏学期	第１～２回	評論「脳の中の古い水路」Ⅰ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	作品を読解する。	15	
				語句の整理、作者の年譜的事実を把握する。	15	
	第３～４回	評論「脳の中の古い水路」Ⅱ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	作品を読解する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第５～６回	評論「脳の中の古い水路」Ⅲ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	作品の要旨をまとめる。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第７～８回	評論「脳の中の古い水路」Ⅳ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	作品の主題を設定する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第９～１０回	評論「脳の中の古い水路」Ⅴ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	作品の主題を再検討する。	15	
				第１～１０回の内容を整理し、理解・検討する。	15	
		定期試験				

秋学期	第１～２回	小説「こころ」 I	作者の年譜的事実を把握し、理解できる。	作品を読解する。	15	
				語句の整理、作者の年譜的事実を把握する。	15	
	第３～４回	小説「こころ」」 Ⅱ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第５～６回	小説「こころ」Ⅲ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第７～８回	小説「こころ」Ⅳ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第９～１０回	小説「こころ」Ⅴ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第１１～１２回	小説「こころ」Ⅵ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	授業で指定された部分を読解し、語句を整理する。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第１３～１４回	小説「こころ」Ⅶ	構成、展開の特色を把握し、正確に読解できる。	作品の主題を設定する。	15	
				作品の総体をノートで確認する。	15	
		定期試験				
冬学期	第１回	答案返却 自己点検	答案返却・解説および修学成果について、自己点検評価する。		0	
				試験を再検討する。	15	
	第２～３回	「史記」 I	漢文の読解に必要な基本知識を理解できる。	便覧p394～401を読み、確認する。	15	
				漢文の基礎的事項をノートで確認し、熟読する。	15	
	第４～５回	「史記」 Ⅱ	「史記」の基本知識を理解できる。	授業で指定された部分の書き下しと現代語訳をする。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第６～７回	「史記」Ⅲ	「鴻門之会」を正確に読解できる。	授業で指定された部分の書き下しと現代語訳をする。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第８～９回	「史記」Ⅳ	「鴻門之会」を正確に読解できる。	授業で指定された部分の書き下しと現代語訳をする。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第１０～１１回	「史記」 Ⅴ	「鴻門之会」を正確に読解できる。	授業で指定された部分の書き下しと現代語訳をする。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第１２～１３回	「史記」Ⅵ	「鴻門之会」を正確に読解できる。	授業で指定された部分の書き下しと現代語訳をする。	15	
				読解された事項をノートで確認し理解する。	15	
	第１４～１６回	「史記」Ⅶ	「鴻門之会」を正確に読解できる。	授業で指定された部分の書き下しと現代語訳をする。	15	
				第１～16回の内容を整理し、理解・検討する。	15	
		定期試験				

点検(自己評価)： 授業の達成目標に対し、 よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

平成２７年度　学習支援計画書

科目名				クラス
線形代数Ⅰ				電気電子工学科　２年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**種別**	**担当教員**
必修	履修　3	通年	講義	中谷亮子

キーワード	科目概要
点・直線・円、 軌跡と領域、 ベクトル、 数列	線形代数は、理工系学生にとっては微分積分と並んで習得しなければならない数学の分野である。その基本概念である「ベクトル」を理解するために、まず平面における点と直線・円について学習し、これらの内容を発展させる形で平面ベクトル・空間ベクトルへと進むことで、「平面および空間の幾何学」への理解を深める。また、ベクトルと合わせて「数列」についてもその基本概念を習得し、数列に関する計算に習熟する。

教科書	参考書	関連する科目・資格
①「数学Ⅱ」、 　俣野博／河野俊丈編、東京書籍 ②「数学Ｂ」、 　俣野博／河野俊丈編、東京書籍	①「ニューアシスト 　新編数学Ⅱ＋Ｂ」、 　東京書籍編集部編、東京書籍 高等学校[数学Ⅱ][数学Ｂ]に該当するもの	科目：　基礎数学Ⅱ［１年次］、 　　線形代数Ⅱ［３年次］ 資格：実用数学技能検定（２級）

評価方法　　**（%）**

評価項目	定期試験等	小テスト	課題 家庭学習	授業態度			計	学年評価に対する割合
春学期	70	20		10			100	25
夏学期	70	20		10			100	25
秋学期	70	20		10			100	25
冬学期	70	20		10			100	25
学　年　評　価　（評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。）								100

備　考	
	定期試験等：授業内容と演習の成果を総合的に判断するため、各学期に1回実施（秋学期のみ2回）。 小テスト　：苦手な分野・理解が十分でない内容を早期に見つけ対応することを目的として、単元ごとに実施する。 課題　　：授業内容に準じて適宜実施し、その提出状況・内容を評価する。また、自学自習を促すため、家庭学習を推奨し、評価に加える。 授業態度　：出席が８０％を超える学生に対し、５点を付与する。授業への積極性，演習・課題等に忍耐強く取り組む姿勢，他の学生との協同作業における協調性等に優れている場合には５点を上限として加点する。また、授業態度が良好でない学生は、５点を上限として減点する。

受講上のアドバイス

①授業用プリントを整理し、試験の際に有意義に活用するために、フラットファイルを準備すること。
②授業中に終了しなかった問題は、その日のうちに家庭にて終了させる努力をすること。
③小テスト後は、間違えた部分や、自信のない部分を重点的に復習すること。
④質問は遠慮なくすること。
⑤課題・家庭学習は、必ず実行し、提出期限は守ること。

科目の達成目標

①	円や直線の式から、図形の関係をイメージしたり、実際に作図することができる。
②	等差数列・等比数列の定義を理解し、その一般項や和を求めることができる。
③	和の記号シグマの性質を用いて、数列の和を計算することができる。
④	ベクトルの簡単な計算（和、差、実数倍）ができる。
⑤	ベクトルの内積やなす角を求めることができる。
⑥	位置ベクトルを理解し、図形に応用することができる。

関連する本校の学習・教育目標	基礎力
問い合わせ・質問先	２階２１５室（数理教員室）
オフィスアワー	月曜８限

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

	回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 （上段：予習・下段：復習）	時間 （分/回）	点検
春学期	第１回	ガイダンス				
	第２～４回	（数学Ⅱ） ２点間の距離	２点間の距離を計算で求めることができる。	教科書P64～65を熟読する。	１５	
				ニューアシストの117、123～125（P22,23）を解く。	１５	
	第５～７回	内分点・外分点	内分点・外分点、さらに、重心等の座標を求めることができる。	教科書P66～70を熟読する。	２０	
				ニューアシストの118～121、126～128（P22,23）を解く。	２０	
	第８～10回	直線の方程式	与えられた条件を活用して直線の方程式を求めることができる。	教科書P71～73を熟読する。	１５	
				ニューアシストの135～138（P22,23）を解く。	１５	
	第11～14回	２直線の関係	平行･垂直条件を理解し、活用して問題を解くことができる。２直線の交点上の直線、点と直線の距離を求めることができる。	教科書P74～80を熟読する。	２０	
				ニューアシストの143～147（P26,27）を解く。	２０	
	第15～21回	円と直線	円と直線の共有点、接線、弧の長さを求めることができる。	教科書P86～91を熟読する。	２０	
				ニューアシストの155～160、165～169（P28、30）を解く。	２０	
	第22～24回	不等式の表す領域	不等式、連立不等式の満たす領域を図示することができる。	教科書P97～101を熟読する。	２０	
				ニューアシストの186、188、189、191～193（P34、35）を解く。	２０	
	第25～27回	前項目までのまとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	教科書P82、93、104の問題、P106～107の練習問題を解く。	３０	
				ニューアシストのＢ問題（P22～35）を解く。	３０	
		定期試験		試験範囲の復習を行い，試験に備える。		
	第28回	**自己点検** **自己評価** ガイダンス	答案の返却・解説、および、自己点検をおこなう。	教科書P64～107の例題を中心に見直す。	３０	
				試験で間違えた箇所を再度見直す。	３０	
	第29～30回	軌跡の方程式	与えられた条件を満たす軌跡を、方程式で表すことができる。	教科書P94～96を熟読する。	２０	
				ニューアシストの176～180（P32）を解く。	２０	
夏学期	第１回	（数学Ｂ） ベクトルの意味	ベクトルの定義や用語を理解することができる。	教科書P48～49を熟読する。	１５	
				ニューアシストの95、96（P95）を解く。	１５	
	第２～４回	ベクトルの加法・減法・実数倍	ベクトルの代数的な演算（加法・減法・実数倍）ができる。	教科書P50～55を熟読する。	２０	
				ニューアシストの98～106（P96,97）を解く。	２０	
	第５～６回	ベクトルの成分	成分で表示されたベクトルを用いて、さまざまな計算ができる。	教科書P56～60を熟読する。	２０	
				ニューアシストの110～117（P98,99）を解く。	２０	
	第７～10回	ベクトルの内積	ベクトルの内積の定義を理解し、その計算ができる。	教科書P61～66を熟読する。	２０	
				ニューアシストの123、125～129、131～134（P100、101）を解く。	２０	
	第11～12回	位置ベクトル	位置ベクトルを理解し、それを図形の問題に活用できる。	教科書P68～69、72～73を熟読する。	１５	
				ニューアシストの143～145(P103)を解く。	２０	
	第13～14回	図形のベクトル方程式	方向ベクトルと法線ベクトルを用いて直線を表すことができる。	教科書P74～76、81を熟読する。	１５	
				ニューアシストの158、160～162（P106、107）を解く。	２０	
	第15回	前項目までのまとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	教科書P67、82の問題を解く。	３０	
				ニューアシストのＢ問題（P95～107）を解く。	３０	
		定期試験		試験範囲の復習を行い，試験に備える。		

点検（自己評価）：授業の達成目標に対し、よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

	回	授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 （上段：予習・下段：復習）	時間 （分/回）	点検
秋学期	第１～２回	ガイダンス （数学Ｂ） 空間座標	空間において点を座標を用いて表現することができる。	教科書P83～85を熟読する。	１５	
				ニューアシストの167、168（P108、107）を解く。	１５	
	第３～６回	空間における ベクトル	空間におけるベクトルの定義を理解することができる。さらに、ベクトルを成分で表示し、さまざまな計算ができる。	教科書P86～93を熟読する。	２０	
				ニューアシストの173、175、176、177（P109、110）を解く。	１５	
	第５～10回	位置ベクトルと 空間の図形	空間における位置ベクトルを図形の問題に活用できる。	教科書P95～99を熟読する。	１５	
				ニューアシストの199、200、201、202（P114）を解く。	２０	
	第11回	前項目までの まとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	教科書P100の問題、P102-103の練習問題を解く。	３０	
				ニューアシストのＢ問題（P95～107）を解く。	３０	
	第１２回	**試験**		試験範囲の復習を行い，試験に備える。		
	第13～14回	（数学Ｂ） 数列	数列の定義や用語を理解することができる。	教科書P6～7を熟読する。	１５	
				ニューアシストの1～4（P78）を解く。	１５	
	第15～17回	等差数列	等差数列の定義を理解し、その一般項を求めることができる。	教科書P8～10を熟読する。	１５	
				ニューアシストの6～11（P79）を解く。	２０	
	第18～20回	等差数列の和	等差数列の和の求め方を理解し、その値を求めることができる。	教科書P11～13を熟読する。	１５	
				ニューアシストの19～23（P81）を解く。	２０	
	第21回	前項目までの まとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	教科書P6～13の例題・問を確認する。	３０	
				ニューアシストのＢ問題（P78～81）を解く。	３０	
		定期試験		試験範囲の復習を行い，試験に備える。		
冬学期	第１回	**自己点検** **自己評価** ガイダンス	答案の返却・解説、および、自己点検をおこなう。	試験範囲の例題を中心に見直す。	３０	
				試験で間違えた箇所を再度見直す。	３０	
	第２～３回	等比数列	等比数列の定義を理解し、その一般項を求めることができる。	教科書P14～16を熟読する。	１５	
				ニューアシストの31、32、33（P83）を解く。	１５	
	第４～６回	等比数列の和	等比数列の和の求め方を理解し、その値を求めることができる。	教科書P17～19を熟読する。	１５	
				ニューアシストの34、35、36（P83、84）を解く。	１５	
	第７～10回	和の記号Σ	和の記号Σの性質を用いて、数列の和を計算することができる。	教科書P20～23を熟読する。	２０	
				ニューアシストの43、44、45、46、47、48、49　（P85、86）を解く。	２０	
	第11～15回	いろいろな数列	等差・等比数列ではない数列の一般項を求めることができる。	教科書P24～28を熟読する。	２０	
				ニューアシストの50、51、59、60（P86、88）を解く。	２０	
	第16～19回	漸化式	漸化式で表現された数列の一般項を求めることができる。	教科書P31～34を熟読する。	２０	
				ニューアシストの64、65、66、67（P89）を解く。	２０	
	第20～23回	数学的帰納法	数学的帰納法を用いた簡単な証明を理解することができる。	教科書P36～39を熟読する。	２０	
				ニューアシストの72、73（P91）を解く。	２０	
	第24回	前項目までの まとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	教科書P30、40の問題、P42～43の練習問題を解く。	３０	
				ニューアシストのＢ問題（P83～91）を解く。	３０	
		定期試験		試験範囲の復習を行い，試験に備える。		

点検（自己評価）：　授業の達成目標に対し、　よく理解できた　←　Ａ　Ｂ　Ｃ　Ｄ　Ｅ　→　まったくわからない

平成２７年度　学習支援計画書

科目名				クラス
微分積分Ⅰ				電気電子工学科　２年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**種別**	**担当教員**
必修	履修　3	通年	講義	江川幸夫

キーワード	科目概要
方程式、式と証明、 指数関数、対数関数、 微分、積分	線形代数の基本概念であるベクトルを理解するために、平面および空間の幾何学を学習し、それらをもとにベクトルの理解を深めて、ベクトルに関する計算に習熟することを目的とする。さらに、行列式についての基本的な性質とそれを使った計算方法を具体的に学び、さらに行列の応用として重要な線形変換と固有値についても学ぶ。専門科目で必要となる数学的手法や計算技術を習得するためにも、演習を交えながら実践力を強化する。基本的な考え方を理解し、基礎学力と問題解決能力を身につけさせることを目標とする。

教科書	参考書	関連する科目・資格
①「数学Ⅱ」 侯野博／河野俊丈編、東京書籍	①「ニューアシスト新編数学Ⅱ＋B」 東京書籍編集部編、東京書籍 ② 高等学校[数学Ⅱ]の内容が記載されている書籍等	科目：　基礎数学Ⅱ［１年次］ 微分積分Ⅱ［３年次］ 資格：実用数学技能検定（２級）

評価方法　（%）

評価項目	定期試験等	課題・小テスト・授業態度　等			計	学年評価に対する割合
春学期	60	40			100	25
夏学期	60	40			100	25
秋学期	60	40			100	25
冬学期	60	40			100	25
学　年　評　価　（評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。）						100

備　考	
	学期末試験・中間試験：授業における講義内容と演習の成果を総合的に判断することを目的として、複数回の試験を実施する。これらの試験（100点満点）の平均の６割５分を評価に加える。 **演習課題･家庭学習**：授業における内容の理解度や演習量を把握するために、演習課題は適時回収し、評価する。また，通常、試験後に提出してもらう授業ノート・自学自習ノートの内容も評価に加えるものとする。さらに，長期休暇期間中には課題を出し、その内容によって評価を行う。 **授業態度**：授業を遅刻・早退・欠席した者、授業態度が不良の者については評価からの減点を行う。

受講上のアドバイス

授業は講義と問題演習を連動して行います。問題演習では、教科書の問題を中心とした授業用プリントを毎時限行い、授業終了後提出してもらいます。
この科目を受講する上で、以下のことを守ってください。
①ノートは大学ノートを使用すること。ルーズリーフは極力使用しないでください。
②授業用プリントを整理し、試験の際、有意義に活用するために、フラットファイルを準備すること。
③質問は何時でも遠慮なくしてください。よくわからないことがあったら、必ず質問して、そのままにしないよう心がけてください。

科目の達成目標

①	整式・分数式の基本計算が確実にできる。
②	剰余の定理を理解し、因数定理の活用ができる。
③	等式・不等式を理解する。
④	指数関数・対数関数を理解し、そのグラフが書ける。
⑤	微分の意味を理解し、その応用ができる。
⑥	積分の意味を理解し、その応用ができる。

関連する本校の学習・教育目標	基礎力
問い合わせ・質問先	２階２１５室（数理教員室）　　※不在時は、同室の松本昇久先生まで
オフィスアワー	火曜日８限目

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回		授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 （上段：予習・下段：復習）	時間 （分/回）	点検
春学期	第１回	ガイダンス				
	第２～３回	整式の乗法と因数分解	展開や因数分解の計算ができる。	教科書pp. 6-11を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第４～６回	整式の除法	整式の割り算ができる。	教科書pp. 12-14を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第７～９回	分数式とその計算	分数式の約分・通分・加減乗除の計算ができる。	教科書pp. 15-20を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第10～12回	複素数とその計算	複素数の性質を理解し、その計算ができる。	教科書pp. 21-25を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第13～15回	解の公式	2次方程式を解の公式を利用して求めることができる。また、判別式を利用して、2次方程式の解を判別することができる。	教科書pp. 26-29を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第16～18回	解と係数の関係	2次方程式の解と係数の関係を用いて、因数分解ができる。	教科書pp. 30-37を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第19～21回	剰余の定理	剰余の定理を用いて、割り算の余りを求めることができる。	教科書pp. 38-39を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第22～24回	因数定理	因数定理を用いて、因数分解ができる。	教科書pp. 40を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第25～27回	前項目までのまとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	既習範囲の教科書、ノート、プリントを読み，復習を行う。	３０	
				教科書の章末の練習問題を解き，これまで解けなかった問題を再度，考察してみる。	６０	
		定期試験	試験範囲の復習を行い，試験に備える。			
	第28回	自己点検	試験結果から理解が不十分な内容を把握し、それを習得するよう努める。			
				試験の間違った問題を見直す。	３０	
	第29～30回	簡単な高次方程式	簡単な高次方程式を解くことができる。	教科書pp. 41-45を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
夏学期	第２～３回	恒等式	恒等式の係数を比較することができる。	教科書pp. 46-50を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第４～６回	不等式	不等式の基本的な性質を理解し、計算することができる。	教科書pp. 51を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第７～９回	等式の証明	等式の証明ができる。	教科書pp. 52-62を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第10～12回	不等式の証明	不等式の証明ができる。	教科書pp. 52-62を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第13～15回	前項目までのまとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	既習範囲の教科書、ノート、プリントを読み，復習を行う。	３０	
				教科書の章末の練習問題を解き，これまで解けなかった問題を再度，考察してみる。	６０	
		定期試験	試験範囲の復習を行い，試験に備える。			

点検（自己評価）：授業の達成目標に対し、よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回		授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 （上段：予習・下段：復習）	時間 （分/回）	点検
秋学期	第２～３回	指数法則	指数法則を理解し、その計算ができる	教科書pp. 150-151を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第４～６回	累乗根	累乗根の性質を理解し、その計算ができる。	教科書pp. 152-153を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第７～９回	指数の拡張	有理数を指数とする数の計算ができる。	教科書pp. 154-155を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第10～12回	指数関数のグラフ	指数関数のグラフを描くことができる。	教科書pp. 156-161を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第13～15回	対数とその性質	対数と指数との関係を理解し、その計算ができる。	教科書pp. 162-165を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第16～18回	対数関数のグラフ	対数関数のグラフを描くことができる。	教科書pp. 166-170を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第19～21回	前項目までのまとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	既習範囲の教科書、ノート、プリントを読み，復習を行う。	３０	
				教科書の章末の練習問題を解き，これまで解けなかった問題を再度，考察してみる。	６０	
		定期試験	試験範囲の復習を行い，試験に備える。			
冬学期	第1回	自己点検	試験結果から理解が不十分な内容を把握し、それを習得するよう努める。			
				試験の間違った問題を見直す。	３０	
	第２～３回	微分係数	平均変化率や微分係数などの定義を理解できる。	教科書pp. 178-182を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第４～７回	導関数	公式を用いて、導関数を求めることができる。	教科書pp. 183-188を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第８～９回	接線	接線の方程式を求めることができる。	教科書pp. 190-191を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第10～14回	関数の増減と極大・極小 関数の最大・最小	関数のグラフを描くことができる。さらに、関数の最大と最小を求めることができる。	教科書pp. 192-198を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第15～17回	不定積分	不定積分を求めることができる。	教科書pp. 204-207を熟読する	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く	１５	
	第18～20回	定積分	定積分の値を求めることができる。	教科書pp. 208-213を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第21～22回	定積分と面積	図形の面積を定積分を用いて求めることができる。	教科書pp. 214-219を熟読する。	１０	
				ノートを読み返し、演習プリントをもう一度解く。	１５	
	第23～24回	前項目までのまとめ	前項目までの内容のまとめを行い、理解度を確認する。	既習範囲の教科書、ノート、プリントを読み，復習を行う。	３０	
				教科書の章末の練習問題を解き，これまで解けなかった問題を再度，考察してみる。	６０	
		定期試験	試験範囲の復習を行い，試験に備える。			

点検（自己評価）：授業の達成目標に対し、よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

平成２７年度　学習支援計画書

科目名				クラス
物理・化学Ⅱ				電気電子工学科　２年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**種別**	**担当教員**
必修	履修　3	通年	講義	兒玉　浩一

キーワード	科目概要
熱・温度、熱効率、定常波、ドップラー効果、力のモーメント、角速度、向心力、慣性力、運動量	物理学における基本的な考え方を、特殊な問題ではなく身の回りに起こる現象として理解し、1年次で学習したことをもとにさらに高度な問題を週3時間の時間をかけて学習する。高学年での専門科目で必要な基本的な問題の解法を身につけ、専門科目へとつなげる。夏学期には、２－３種目の実験を行い、自然科学への理解を深める。

教科書	参考書	関連する科目・資格
①「新編物理基礎」三浦　登他，東京書籍 ②「物理」三浦　登他，東京書籍		科目：応用物理Ⅰ・Ⅱ 資格：電気工事士

評　価　方　法　　（%）

評価項目	定期試験	小テスト	課題宿題	授業態度			評価	学年評価に対する割合
春学期	４０	３０	２０	１０			１００	２５%
夏学期	４０	３０	２０	１０			１００	２５%
秋学期	４０	３０	２０	１０			１００	２５%
冬学期	４０	３０	２０	１０			１００	２５%
学　年　評　価　（評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。）								１００

備　考	
	学期ごとに評価し、６０点に満たない者は次学期に補習する（冬学期は除く）。 定期試験および小テストの内容は，通常の学習の成果を測定することを主とする。 宿題・課題は家庭での努力を測定するものである。 授業態度の著しく悪い時は、たとえ出席していてもその点数がゼロになることがあるので注意すること。 問題集・演習プリントは課題・宿題点になる。

受講上のアドバイス

特に問題集は無いので、演習プリントを配布する。プリントを保管できるファイルを必ず用意すること。
この科目の内容は応用物理や専門科目とさらに進んでいくので、ここで理解できないと卒業まで苦しくなる。従って、授業中には遠慮せず質問すること。それでも理解できないときは放課後に来て、納得するまで取り組むこと。

科目の達成目標

①	物質の状態や熱について、説明できる。
②	波の性質について、説明できる。
③	音の性質について、説明できる。
④	剛体のつり合いについて、説明できる。
⑤	等速円運動と単振動の関係について説明できる
⑥	運動量保存の法則とはねかえり係数の式を用い、衝突の問題を解くことができる。

関連する本校の学習・教育目標	基礎力
問い合わせ・質問先	2階215室（数理教員室）
オフィスアワー	月曜８限

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回		授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 （上段:予習・下段:復習）	時間	点検
春学期	第１～３回	ガイダンス 熱と温度 物質の三態	熱と温度の違いを理解し、説明することができる。潜熱を理解することで、状態変化における熱量の計算ができる。	教科書p88～91を熟読する。	１０	
				演習プリントを解く。	２０	
	第４～５回	熱の移動と保存 熱と仕事	熱量保存則や熱力学第一法則を理解し説明できる。	教科書p92～95を熟読する。	１０	
				演習プリントを解く。	２０	
	第６～７回	熱効率と不可逆変化 問題演習	熱機関を理解し、熱効率の計算ができる。熱に関する総合問題が解ける。	教科書p96～97を熟読する	１０	
				演習プリントを解く。	２０	
	第８ ～１１回	波とは何か	波の特徴や振動の仕方を理解し、速さや振動数の計算ができる。	教科書p102～107を熟読する。	１０	
				演習プリントを解く。	２０	
	第１２ ～１６回	波の重ね合わせ 波の反射 定常波	重ね合わせの原理が理解でき、自由端、固定端反射の作図と、定常波の説明ができる。	教科書p108～113を熟読する。	１０	
				演習プリントを解く。	２０	
	第１７回	音の伝わり方	音速が求められ、うなりが理解できる。	教科書p114～115を熟読する。	１０	
				演習プリントを解く。	１０	
	第１８ ～２２回	振動する弦 振動する気柱	固有振動が理解でき、弦や気柱の固有振動数を求めることができる。	教科書p116～119を熟読する。	１０	
				演習プリントを解く。	２０	
	第２３ ～２７回	ドップラー効果	音源や観測が動く場合のドップラー効果について理解できる。	教科書p150～156を熟読する。	１０	
				演習プリントを解く。	３０	
		定期試験				
	第２８回	自己点検	春学期で学習した内容の中で理解不十分な箇所を発見し、克服することができる。	－	－	
				試験の間違った問題を見直す	２０	
	第２９ ～３０回	速度・加速度 仕事・仕事率	1年次に学習した速度・加速度・仕事・仕事率の計算ができる。	演習プリントを解く。	１０	
				演習プリントを見直す。	１０	
夏学期	第１～３回	実験の諸注意 誤差・有効数字 ﾚﾎﾟｰﾄの書き方	測定における誤差や有効数字を理解することができる。見やすいﾚﾎﾟｰﾄを書くことができる。	配布プリントを読む	１０	
				演習プリントを解く	１０	
	第４～６回	【実験】速度と加速度の測定	実験を通して、速度加速度を理解し、説明することができる。	実験プリントを読み、手順を理解する。	１０	
				実験ﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	６０	
	第７～８回	【実験】重力加速度gの測定	実験を通して、重力加速度を理解し、説明することができる。	実験プリントを読み、手順を理解する。	１０	
				実験ﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	６０	
	第９ ～１５回	【実験】仕事・仕事率の測定 まとめと演習	実験を通して、仕事仕事率を理解し、説明することができる。	実験プリントを読み、手順を理解する。	１０	
				実験ﾚﾎﾟｰﾄを作成する。	６０	
		定期試験				

秋学期	第１～３回	剛体における力のつり合い	力のモーメントを理解し、剛体におけるつり合いを理解することができる。	教科書P6～12を読む	１０	
				演習プリントを解く	６０	
	第４～７回	重心	物体の重心を計算や作図で求めることができる。	教科書P13～16を読む	１０	
				演習プリントを解く	３０	
	第８～１２回	平面上の運動 放物運動	速度の分解・合成ができる。 水平投射斜方投射の問題を解くことができる。	教科書P18～29を読む	１０	
				演習プリントを解く	２０	
	第１３～１６回	等速円運動	等速円運動を理解し、角速度や向心加速度、向心力を求めることができる。	教科書P32～37を読む	１０	
				演習プリントを解く	３０	
	第１７～１９回	慣性力	慣性力や遠心力を理解し、非慣性系での運動を説明できる。	教科書P38～41を読む	１０	
				演習プリントを解く	１０	
	第２０～２１回	総合問題演習	剛体・等速円運動・慣性力に関する問題を解くことができる。	演習プリントに取り組む	６０	
				演習プリントを見直す	６０	
		定期試験				
冬学期	第１回	自己点検	秋学期で学習した内容の中で理解不十分な箇所を発見し、克服することができる。	－	－	
				試験の間違った問題を見直す	２０	
	第２～３回	単振動	単振動と等速円運動の関係を理解し、単振動の速度加速度を求めることができる。	教科書P54～57を読む	１０	
				演習プリントを解く	３０	
	第４～６回	ばね振り子 単振り子 単振動のｴﾈﾙｷﾞｰ	ばね振り子や単振り子を理解でき、説明できる。単振動のｴﾈﾙｷﾞｰを求めることができる。	教科書P58～64を読む	１０	
				演習プリントを解く	３０	
	第７～９回	問題演習	単振動に関するさまざまな問題を解くことができる。	演習プリントに取り組む	３０	
				演習プリントを見直す	３０	
	第１０～１２回	運動量と力積	運動量と力積の定義を理解し、求めることができる。	教科書P66～71を読む	１０	
				演習プリントを解く	３０	
	第１３～１５回	運動量保存の法則	運動量の保存の法則を理解し、説明できる。	教科書P72～79を読む	１０	
				演習プリントを解く	３０	
	第１６～２１回	反発係数 運動量とｴﾈﾙｷﾞｰの保存	反発係数について理解し、衝突の問題を解くことができる。	教科書P80～85を読む	１０	
				演習プリントを解く	３０	
	第２２～２４回	総合問題演習	単振動や衝突に関する問題を解くことができる。	演習プリントに取り組む	３０	
				演習プリントを見直す	３０	
		定期試験				

点検（自己評価）：よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

平成２７年度　学習支援計画書

科目名				クラス
保健体育Ⅱ				電気電子工学科　2年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**種別**	**担当教員**
必修	履修2	通年	実技	瀧本明弘

キーワード	科目概要
生涯スポーツ、協調性、ルール順守、安全	・体力テスト　・バレーボール　・ハンドボール　・トレーニング

教科書	参考書	関連する科目・資格
なし	アクティブスポーツ2015	なし

評価方法　（%）

評価項目	レポート	リー戦成績	学習態度	出席状況			計	学年評価に対する割合
春学期	20	20	30	30			100	25
夏学期	20	20	30	30			100	25
秋学期	20	20	30	30			100	25
冬学期	20	20	30	30			100	25
学　年　評　価　（評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。）								100

備　考	

受講上のアドバイス

1、ジャージ、シューズは指定のもの以外は認めない　2、安全に留意する事　3、生涯スポーツについて理解する事

科目の達成目標

①	生涯スポーツに関わる基礎を構築する
②	基礎体力の向上を図る
③	スポーツを通じて協調性を身につける
④	バレーボールについて理解を深める
⑤	ハンドボールについて理解を深める
⑥	トレーニングについて理解を深める

関連する本校の学習・教育目標	人間性の向上
問い合わせ・質問先	地域連携教育センター、第二体育館
オフィスアワー	水曜日　16：30～17：30

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回		授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 （上段：予習・下段：復習）	時間 （分/回）	点検
春学期	第１回	体力測定	自己の体力を把握する	–	0	
				体力測定の結果から自己の体力を振り返る	10	
	第2回	集団行動	整列、姿勢、準備体操などの集団行動ができる	整列方法、準備体操などの集団行動について考える	10	
				集団行動の重要性を振り返る	10	
	第3回	体育大会の練習	体育大会の種目の理解を深める	体育大会で自分の出場する競技を知り、ルールを理解する	10	
				体育大会がスムーズに進行できるように振り返る	10	
	第4回～9回	バレーボール	サーブ及びパスについて理解を深める	サーブ及びパスを調査する	30	
				本時の基本動作を振り返る	10	
			サーブ及びパスができる	サーブ及びパスを復習する	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
			スパイクについて理解を深める	スパイクを調査する	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
			スパイクができる	スパイを復習する	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
			チームプレーについて理解を深める	チームプレーを調査する	10	
				チームごとに反省点を考える	10	
			チームプレーができる	チームごとに戦略を考える	10	
				チームごとに反省点を考える	10	
	第10回	バレーボール	リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	チームごとに戦略を考える	10	
				チームごとに反省点を考える	10	
夏学期	第1回～２回	バレーボール	リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	チームごとに戦略を考える	30	
				チームごとに反省点を考える	10	
			リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	チームごとに戦略を考える	10	
				チームごとに反省点を考える	10	
	第3回～５回	ハンドボール	キャッチボール、シュートができる	キャッチボール、シュートを調査する	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
			ランニングパスができる	ランニングパスを調査する	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
			ランニングパスからシュートができる	ランニングパスからのシュートを調査する	10	
				本時の基本動作を振り返る	10	
	第６回	ハンドボール	試合形式の練習でチームプレーについて理解を深める	チームプレーを調査する	10	
				試合形式の練習をの反省をする	10	

秋学期	第１回～4回	ハンドボール	リーグ形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	チームごとに戦略を考える	10	
				チームごとに反省点を考える	10	
			リーグ形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10	
				チームごとに反省点を考える	10	
			リーグ形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10	
				チームごとに反省点を考える	10	
			リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	30	
				チームごとに反省点を考える	10	
	第5回	球技大会の練習	各種球技の理解を深める	球技大会で自分の出場する競技を知り、ルールを理解する	10	
				球技大会がスムーズに進行できるように振り返る	10	
	第6回～7回	ハンドボール	リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	前の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10	
				チームごとに反省点を考える	10	
			リーグ戦形式のチーム対抗戦でチームプレーができる	先週の試合を踏まえ、チームごとに戦略を考える	10	
				チームごとに反省点を考える	10	
冬学期	第１回～8回	トレーニング	トレーニングマシーンを正しく利用できる	トレーニングマシーンの利用方法を調査する	10	
				トレーニングマシーンの利用について反省する	10	
			筋力トレーニングについて理解を深める	筋力トレーニングについて調査する	10	
				筋力トレーニングについて復習する	10	
			最大筋力の測定を行い自分の筋力を把握する	最大筋力の測定方法を調査する	10	
				最大筋力の測定について復習する	10	
			自己のトレーニングプログラムを作製する	トレーニングプログラムについて調査する	10	
				作製した自己のトレーニングプログラムについて復習する	10	
			自己のトレーニングプログラムを実践する	筋持久力トレーニングのプログラムについて予習しておく	10	
				筋持久力トレーニングのプログラムについて復習する	10	
			自己のトレーニングプログラムを実践する	筋パワートレーニングのプログラムについて予習しておく	10	
				筋パワートレーニングのプログラムについて復習する	10	
			持久力トレーニングについて理解を深める	持久力トレーニングについて調査する	10	
				持久力トレーニングについて復習する	10	
			トレーニングについてのレポートを作成する	トレーニングについて予習をする	10	
				トレーニングについて復習をする	10	
	第9回	自己点検自己評価	1年間の授業について振り返り理解を深める	–	0	
				生涯スポーツについて振り返る	10	

点検（自己評価）： 授業の達成目標に対し、 よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

平成２７年度　学習支援計画書

科目名				クラス
総合英語II				電気電子工学科　２年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**種別**	**担当教員**
必修	履修　3	通年	講義	大原しのぶ

キーワード	科目概要
読解力，語彙力，知的好奇心，不定詞，動名詞，関係詞，仮定法	平明な文章で書かれた英文をより速く、より多く読む訓練を通して読解力、語彙力の増強を図るとともに、教材に取り扱われる自然界での出来事、人々の考え方、行き方、さまざまな国の文化、食習慣などの話題に触れ、今までに意識しなかったことに関心を持ち、知的好奇心を高めることを目的とする。また不定詞、動名詞、関係詞、仮定法などの文法を学習することにより英文の仕組みとそのルールを理解し、今後の英語学習の支柱となるよう演習を通してそれらを身につける。

教科書	参考書	関連する科目・資格
①「New Password 2」，Linda Butler，Pearson Longman	①「ジーニアス英和辞典」小西友七・南出康也，　大修館書店	科目：総合英語Ⅰ、総合英語III 資格：英検準２級

評価方法

評価項目	定期試験	小テスト	提出物	授業態度			評価	学期の割合
春学期	50	25	15	10			100	33%
夏学期	50	25	15	10			100	17%
秋学期	50	25	15	10			100	25%
冬学期	50	25	15	10			100	25%
学　年　評　価（評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。）								100%

備　考	
	定期試験：学習した範囲の理解度を図るため、定期試験を実施する。 小テスト：テキストの各単元終了後の小テストと文法の小テストとする。 提出物：ほぼ毎授業後提出するハンドアウト、夏休みの宿題等 授業態度：忘れ物、授業中の居眠りなど。５点以上の減点もある。　（１０％の中に春学期の発表が５％含まれる） 総合成績の比率は2(春)：1(夏)：1.5(秋)：1.5(冬)に計算される。

受講上のアドバイス

1、音読は英語学習の上で重要かつ効果的である。自宅で教科書の英文を時間を決めて読み終える練習をすすめる。５分が４分、３分と段々と読むスピードが速くなり同時に内容理解も確実に伸びるはずです。
2、本文を聞いたり、読んだりする時は語順を意識して前から前から内容を理解するようにする。
3、ハンドアウトはファイルして丁寧に整理し復習や小テスト、中間試験や期末試験に役立てる。
4、単語の学習は語源を意識し、その単語を用いた英文を自分で作成し、学習することを強くすすめます。
5、教科書のトピックに興味を持ち、楽しみながら読み、リーディング力を向上させるよう努めて下さい。

科目の達成目標

①	教科書に出てくる新出単語を意欲的に学習することができる
②	本文の内容についての知識を増やすことができる
③	文法事項の不定詞・動名詞について理解できる
④	文法事項の仮定法・関係代名詞について理解できる
⑤	新しい内容に入る前の導入を行うことで内容に対して興味を持つことができる
⑥	授業で習った内容から自分の視野を広げることができる

関連する本校の学習・教育目標	国際性
問い合わせ・質問先	１階教員室（１０３室）
オフィスアワー	木曜日８限

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回		授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 （上段:予習・下段:復習）	時間	点検
春学期	第1回	授業概要の説明	どの様な態度で授業に臨むことを期待されているか理解する	―	0	
				学習支援計画書の内容の確認	10分	
	第2～8回	Chapter5: Antarctica	トピックに関する情報を習得し、本文の概要を理解できる。新出単語の習得と本文の詳細を理解し、要約できる。	Chapter5の本文の単語を確認する。	各10分	
				教科書pp.40-46の問題を理解しているか確認する。	各20分	
	第9回	Chapter5: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているかを確認する。	小テストの準備	10分	
				小テストの復習	20分	
	第10～16回	Chapter6: The Galapagos	トピックに関する情報を習得し、本文の概要を理解できる。新出単語の習得と本文の詳細を理解し、要約できる。	Chapter6の本文の単語を確認する。	各10分	
				教科書pp.47-55の問題を理解しているか確認する。	各20分	
	第17回	Chapter6: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているか確認する。	小テストの準備	10分	
				小テストの復習	20分	
	第18～21回	不定詞	不定詞の名詞的・副詞的・形容詞的用法の違いが理解できる。	中学校でどんな不定詞を習ったかを確認する	各10分	
				不定詞のハンドアウトを理解しているか確認する	各20分	
	第22～25回	動名詞	動名詞の基本的用法を理解し、動名詞を伴う動詞を習得できる。	不定詞と動名詞の違いを考える	各10分	
				動名詞のハンドアウトを理解しているか確認する	各20分	
	第26回	不定詞・動名詞 Review Quiz	学習した文法事項を理解しているか確認する。	小テストの準備	10分	
				小テストの復習	20分	
	第27回	Review	学習した単語、本文の内容、文法を理解しているかを確認する	学習した範囲で不明な点がないか確認する	10分	
				定期テスト範囲内の内容を復習する	20分	
		春学期試験		―		
	第28回	自己点検	答案返却・解説および自己点検。	―	-	
				試験で間違えたところを再度見直す	20分	
	第29～30回	Activity	ユニットに関連したテーマでの活動	課題活動についての下調べ	各10分	
				発表等のまとめ	各20分	
夏学期	第1～7回	Chapter7: San Marino	トピックに関する情報を習得し、本文の概要を理解できる。新出単語の習得と本文の詳細を理解し、要約できる	Chapter7の本文の単語を確認する。	各10分	
				教科書pp.56-63の問題を理解しているか確認する。	各20分	
	第8回	Chapter7: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているかを確認する。	小テストの準備	10分	
				小テストの復習	20分	
	第9～14回	Chapter:8: Mount Fuji	トピックに関する情報を習得し、本文の概要を理解できる。新出単語の習得と本文の詳細を理解し、要約できる	Chapter8の本文の単語を確認する。	各10分	
				教科書pp.64-71の問題を理解しているか確認する。	各20分	
	第15回	Chapter:8: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているかを確認する。	小テストの準備	10分	
				小テストの復習	20分	

		夏学期試験				
	第1～7回	Chapter9: Your Sense of Taste	トピックに関する情報を習得し、本文の概要を理解できる。新出単語の習得と本文の詳細を理解し、要約できる	Chapter9の本文の単語を確認する。	各10分	
				教科書pp.80-87の問題を理解しているか確認する。	各20分	
	第8回	Chapter9: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているかを確認する。	小テストの準備	10分	
				小テストの復習	20分	
	第9～13回	仮定法	条件節の形と意味を理解できる。仮定法過去の形を意味を理解できる。	条件節（直説法）と仮定法の違いを考える	各10分	
				仮定法過去を使っての英文を考える。	各20分	
	第14回	仮定法 Review Quiz	学習した文法事項を理解しているか確認する。	小テストの準備	10分	
				小テストの復習	20分	
	第15～20回	Chapter10: Bones	トピックに関する情報を習得し、本文の概要を理解できる。新出単語の習得と本文の詳細を理解し、要約できる	Chapter10の本文の単語を確認する。	各10分	
				教科書pp.88-95の問題を理解しているか確認する。	各20分	
	第21回	Chapter10: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているかを確認する。	小テストの準備	10分	
				小テストの復習	20分	
		秋学期試験				
冬学期	第1回	自己点検	答案返却・解説および自己点検。	—	-	
				試験で間違えたところを再度見直す	20分	
	第2～7回	Chapter11: Giving Blood	トピックに関する情報を習得し、本文の概要を理解できる。新出単語の習得と本文の詳細を理解し、要約できる	Chapter11の本文の単語を確認する。	各10分	
				教科書pp.96-103の問題を理解しているか確認する。	各20分	
	第8回	Chapter11: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているかを確認する。	小テストの準備	10分	
				小テストの復習	20分	
	第9～14回	関係代名詞	関係代名詞の基本的用法を理解できる。	関係代名詞とは何かを考える。	各10分	
				関係代名詞を使っての英文を考える。	各20分	
	第15回	関係代名詞 Review Quiz	学習した文法事項を理解して様々な問題を解くことができる。	小テストの準備	10分	
				小テストの復習	20分	
	第16～22回	Chapter12: Can you give me a hand?	トピックに関する情報を習得し、本文の概要を理解できる。新出単語の習得と本文の詳細を理解し、要約できる	Chapter12の本文の単語を確認する。	各10分	
				教科書pp.104-111の問題を理解しているか確認する。	各20分	
	第23回	Chapter12: Review Quiz	学習した単語、本文の内容を理解しているかを確認する。	小テストの準備	10分	
				小テストの復習	20分	
	第24回	Review	学習した単語、本文の内容、文法を理解しているかを確認する	学習した範囲で不明な点がないか確認する	10分	
				—	20分	
		冬学期試験		—	—	

点検(自己評価):授業の達成目標に対しよく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成２７年度　学習支援計画書

科目名				クラス
Skills II（英語スキルズＩＩ）				電気電子工学科　２年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**種別**	**担当教員**
Required	履修　3	All year	Lecture	Nate Lurie, Nhung Le (Spring, Summer, Fall, Winter), Nicholas Duff (Spring)

キーワード	科目概要
Communicative competence; Teamwork; Communication skills; Project-based learning	The purpose of this class is to help students build confidence in their communicative English skills. Students will learn and interact with their classmates through a variety of meaningful activities focused on topics of interest to students. In completing these activities, students will practice grammar, English expressions, vocabulary, pronunciation and comprehension. These activities will also serve to familiarize students with foreign cultures.

教科書	参考書	関連する科目・資格
①*Conversations in Class 3rd Edition* Bruno Vannieu, Stephen Richmond Alma	①*Postcards 2*, Video 1 ②Classroom hand-outs	英語スキルズＩ，ＩＩＩ

評価方法

評価項目	Class Work	Participation	Tests/Projects		評価	学期の割合
春学期	40	30	30		100	2/6
夏学期	40	30	30		100	1/6
秋学期	40	30	30		100	1.5/6
冬学期	40	30	30		100	1.5/6
学　年　評　価（評価は春、夏、秋、冬学期で行い、通知表は春、夏、秋、学年評価で示す。）						6/6

備　考	・Students will be evaluated on the accuracy and completion of class handouts and in class activities. ・Students will be evaluated using a participation rubric. ・Students will be evaluated using written and spoken tests and project rubrics.

受講上のアドバイス

- Come to class on time with your binder, notebook, and pencil
- Say hello and good-bye with a smile and good eye contact
- Don't worry about making mistakes, try your best to talk
- Relax, have fun and smile
- Ask questions if you don't understand instructions or classwork
- Be respectful and friendly to everyone in your class
- Be responsible for making up missed work and finishing assignments

科目の達成目標

①	Describe themselves, their preferences, and other people.
②	Talk about future plans and intent using the modal verb *will* and *going to*.
③	Use prepositions to describe their surroundings and basic placement of objects.
④	Express their opinions and answer comprehension questions about the plot of a tele-drama.
⑤	Work in teams towards a common goal.
⑥	Talk about past experiences using the present perfect.

関連する本校の学習・教育目標	国際性
問い合わせ・質問先	KTC 31-103
オフィスアワー	Monday 4-5

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

	回	授業項目	授業の達成目標 Students will be able to:	授業の学習課題 （上段:予習・下段:復習）	時間 #of minutes for each class	点検
春学期	第１－３回	Orientation & Introductions About Me	Learn about class and classmates' names; Complete a questionnaire; Practice asking for help in English.	-	-	
				Review syllabus and think about language learning goals.	10	
	第４－６回	About Me	Introduce yourself; Ask for and give personal information	Think about how to introduce yourself in English.	10	
				Practice introducing yourself.	10	
	第７－９回	Me & My Classmates	Practice talking about likes/dislikes, hobbies, and interests.	Think about kinds of food, movies, etc. you like/don't like.	10	
				Practice saying sentences using, "Me, too."	10	
	第10-12回	Me & My Classmates	Agree/disagree with your classmates	Write about three things you like and don't like.	10	
				Practice asking people about their interests.	10	
	第13-14回	My Family	Learn family vocabulary and how to talk about family.	Think about how to describe your family in English.	10	
				Write as many words as you can to describe family members.	10	
	第15-18回	My Family	Practice talking about family; Describe what people look like.	Think about questions to ask your classmates about family.	10	
				Practice telling about your family.	10	
	第19-21回	People I Admire	Talk about people you admire and learn vocabulary to talk about what people look like.	Describe what someone you admire looks like.	10	
				Write a paragraph describing your favorite actor/ actress.	10	
	第22-24回	My Active Life	Learn sports you go/play/do; discuss sports and exercise habits	Write three sentences about your favorite sport.	10	
				Ask a classmate, in English, about sports they like.	10	
	第25-27回	My Future	Talk about future plans using "will" and "going to"	Think about your future plans.	10	
				Talk to a classmate about your weekend plans in English.	10	
	第28-30回	My Future	Share summer plans using future tense; Read sample postcard	Think about your summer plans.	10	
				Talk to a classmate about your summer plans in English.	10	

夏学期	第１－３回	*Skills 2 Summer:* Kanazawa Places of Interest	*Students will learn how to build a team and serve as a facilitator between year 1 and year 3 students*; Communicate with group members through team building and English communication skills; Research Kanazawa places of interest on the internet.			
				Reflect on the team building activities you did in class, and note your role within your group. *How will you facilitate co-operation between 1st and 3rd year students?*	15	
	第４－５回		*Students will be able to help build a team that will* choose and research a Kanazawa place of interest, taking into consideration their individual role with their group; Take notes in English on their research findings; *Serve as a vehicle to make a better team.*	Review the *team building skills* you learned in class, and practice gathering *and sharing* information about a place of interest around Ishikawa.	15	
				Review your notes, and finish any research *and share the information gathered with your group members* about your group's Kanazawa place of interest.	15	
	第６－８回		*Students will be able to coordinate year 1 and year 3 students work to ensure the group's work is complete*; Develop speaking presentation skills; Assign and practice their roles within their group.	Review your notes *and discuss with other group members* about how you would present this information.	15	
				Review the speaking skills you learned in class, *give feedback think about how the group can best give the presentation and share this with your group.*	15	
	第9-10回		*Students will be able to give feedback to other group members*; Demonstrate speaking presentation skills by practicing presenting their findings within their own group, and for another group.	What makes a good speaking presentation? Brainstorm ideas, note your *group's strengths and areas for improvement and give feedback to your senior and junior group members.*	15	
				Practice the speaking skills you learned in class to *support your senior students, rehearse your role and provide support to your junior students* prior visit to your Kanazawa place of interest.	15	
	第11-13回		*Students will be able to ensure that the team* completes an onsite recorded presentation and interview with visitors at their Kanazawa place of interest. *This will include camera work, notecards and prompting.*	Practice your role, *provide support and feedback to your junior and senior students* and finish any work before going out into the community.	15	
				Reflect on your role within your group during the recording day in Kanazawa. *Did you work with your senior and junior group members to ensure success?*	15	
	第14-15回		*Students will be able to* reflect, in English, upon their *support and team building skills in making their* Kanazawa place of interest video; Share feedback with other groups about different Kanazawa places of interest videos they see.	Review the speaking skills and project notes you've made. *Focus on how you can work with team members from different groups.*	15	
				Review feedback you received from classmates about your group video. What was a strong point for YOUR work, *and how you can improve your team building skills* during the second half of the year?	15	

秋学期	第１－３回	Postcards Intro Episode 1 & 2: Who are they?	Get to know the characters: Sarah, Chris, Kim and Adam	Think about your image of American high school.	10	
				Review the characters' names and what you know about them.	10	
	第４－６回	Episode 3: High-School	Practice school vocabulary: schedules & subjects	Think about your daily schedule.	10	
				Practice asking your classmates about their schedules.	10	
	第７－９回	Episode 4: A Secret Plan	Create a comic to tell about what's happening in the story	Think about your favorite actors, musicians, and artists.	10	
				Predict what may happen in the next part of the *Postcards* story.	10	
	第10-12回	Episode 5 & 6: Drama!	Review the story with a listening cloze; Unscramble　dialogue	Think about what the *Postcards* characters like, hate, love.	10	
				Write about what you like and don't like in the *Postcards* video.	10	
	第13-14回	Episode 7 & 8: The End	Make guesses about the end of the story; Give opinions about the story; Review for quiz	Ask a classmate, in English, about their favorite character.	10	
				Think about how you want the *Postcards* story to end.	10	
	第15-18回	*Postcards:* Quiz & Project	Complete a quiz about *Postcards* story and choose a project	Think about which project you want to do. (*Postcards* workbook p. 18 – 19)	10	
				Review your project work with your partner/teammates.	10	
	第19-21回	*Postcards:* Project	Finish and present projects	Find new words in your *Postcards* workbook for your project.	10	
				Write about the good and bad points of your project.	10	
冬学期	第１－３回	Christmas/ New Year's	Christmas Activities/Movie/Year-in-Review	Think about how winter holidays are celebrated around the world and in Japan.	10	
				Practice explaining the story of *Elf* in English. Review 2015 Japan & world news events.	10	
	第４－６回	My Room	Use prepositions to describe the basic placement of objects and surroundings	Think about your bedroom. What's in it? Where is it?	10	
				Practice describing where things are.	10	
	第７－９回	My World	Talk about world geography, countries, nationalities and languages; Discuss food, landmarks, and activities	Look at a world map and try to say the countries in English.	10	
				Think of an overseas trip you have made or would like to make.	10	
	第10-12回	My World Experiences	Review present perfect vs. past tense and practice	Review the nationalities and languages spoken in the countries studied in class.	10	
				Write/talk about what you learned about different countries.	10	

	第13-14回	My World Experiences	Talk about experiences using world knowledge	Think of a country you would most like to visit. What would you do and eat there?	10	
				Talk to a classmate about an overseas trip you have made or would like to make.	10	
	第15-16回	Unit Project	Complete a project to tell and ask about world experiences	Think of what your ideal country would be like. What could you do, eat, and see?	10	
				Review the grammar and vocabulary practiced this past unit.	10	
	第17-21回	Final Review	Review of content and grammar used in My World Experiences unit.	Write down any questions you have about the vocabulary or grammar of this unit.	10	
				Reflect on your progress this year in English class.	10	
	第22-24回	Self-Evaluation Year in Review	Review learning this year; Complete class questionnaire	Reflect on what you have learned this year in English class.	10	
				–	–	

点検（自己評価）: よく理解できた ← A B C D E → まったくわからない

平成２７年度　学習支援計画書

科目名				クラス
世界事情Ⅰ				電気電子工学科　２年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**種別**	**担当教員**
選択	履修　2	通年	講義	宮野　肇

キーワード	科目概要
文化的特徴、国際社会、アイデンティティー、多様性	日本の文化的特徴・風習などを、外国人の視点から書かれた英文テキストを通じて学び、理解と知識を高める。その中で、特にアメリカと日本の文化の違いについて学習していく。グローバル社会における日本人としてのアイデンティティーの確立を図る一方で、世界における文化の多様性を実感する機会とする。

教科書	参考書	関連する科目・資格
①「Spotlight on America and Japan」Joshua Cohenほか3名、NAN'UN-DO	指定なし	科目：世界事情Ⅱ 資格：

評価方法　（%）

評価項目	定期試験	小テスト	課題	発表	授業態度		計	学年評価に対する割合
春学期	50	20	15	10	5		100	25
夏学期	50	20	15	10	5		100	25
秋学期	50	20	15	10	5		100	25
冬学期	50	20	15	10	5		100	25
学　年　評　価　（評価は春,夏,秋,冬学期で行い、通知表は春,夏,秋,学年評価で示す。）								100

備　考	各学期の評価で評価し、５０点に満たない者は補習する。 年度末の学年評価は各学期の評価に学期の割合を掛けたものの和とする。 定期試験および小テストの内容は，通常の学習の成果を測定することを主とする。 課題は各lessonにつき1回行うものを評価する。 発表は各自年1回行うものを評価する。 授業態度は、積極的な授業参加を評価する。

受講上のアドバイス

①授業中に配布した資料はファイルに保管すること。
②自分のプレゼンテーションの準備には余裕を持って取り組むこと。
③他の学生のプレゼンテーションを良く聞き、知識の共有を図ること。

科目の達成目標

①	他国の文化、風習などについての理解を深め、それらに関する語彙を身につけることができる。
②	世界で注目されている日本の文化について理解を深め、それらを紹介することができる。
③	異なる文化背景のマナーの違いを認識し、日本のマナーについて説明することができる。
④	日本と外国の文化的違いを理解し、広い視野と柔軟な考え方を持つことができる。
⑤	国際社会を生きていく人材として、自分自身の考えを持つことができる。

関連する本校の学習・教育目標	国際性
問い合わせ・質問先	１階教員室（１０３室）
オフィスアワー	16:30～17:30

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回		授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 （上段:予習・下段:復習）	時間	点検
春学期	第１回	授業内容説明	授業内容について理解する。	自己紹介の準備をする	―	
				シラバスの内容を再確認する。	10分	
	第２・３回	NAMES	日米の名前の呼び方の違いについて理解する。	教科書 pp. 10-11を熟読する。	各10分	
				教科書 pp. 10-11の重要単語を習得する。	各20分	
	第４・５回	NAMES	名前に関する事柄を、英語で表現できる。	自分の名前の由来について調べ、まとめる。	各10分	
				課題プリントを解く。	各20分	
	第６・７回	SPORTS	日米のスポーツ事情の違いについて、理解する。	教科書 pp. 14-15を熟読する。	各10分	
				教科書 pp. 14-15の重要単語を習得する。	各20分	
	第８・９回	SPORTS	スポーツに関する事柄を英語で表現できる	興味のあるスポーツ選手を調べ、まとめる。	各10分	
				課題プリントを解く。	各20分	
	第10・11回	MOVIES	日米の映画の楽しみ方、映画産業の違いについて理解する。	教科書 pp. 22-23を熟読する。	各10分	
				教科書 pp. 22-23の重要単語を習得する。	各20分	
	第12・13回	MOVIES	映画に関する事柄を、英語で表現できる。	自分の好きな映画について調べ、まとめる。	各10分	
				課題プリントを解く。	各20分	
	第14・15回	KARAOKE	日米のカラオケの楽しみ方の違いについて、理解する。	教科書 pp. 26-27を熟読する。	各10分	
				教科書 pp. 26-27の重要単語を習得する。	各20分	
	第16・17回	KARAOKE	カラオケに関する事柄を、英語で表現できる。	自分の好きな曲を調べ、まとめる。	各10分	
				課題プリントを解く。	各20分	
	第１８回	重要表現復習	名前、スポーツ、映画、カラオケに関する英語表現ができる。	Lesson 2, 3, 5, 6で学習した重要単語を見直す。	10分	
				課題プリントを見直す。	20分	
		定期試験				
	第１９回	自己点検自己評価	答案返却。解説および自己点検			
				試験を見直す。	15分	
	第２０回	SHAKING HANDS	日米の握手とその意味の違いについて、理解する。	教科書 pp. 30-31を熟読する。	10分	
				教科書 pp. 30-31の重要単語を習得する。	20分	
夏学期	第１回	SHAKING HANDS	日米の握手とその意味の違いについて、理解する。	教科書 pp. 30-31を熟読する。	10分	
				教科書 pp. 30-31の重要単語を習得する。	20分	
	第２・３回	SHAKING HANDS	挨拶・握手に関する事柄を、英語で表現できる。	各国の挨拶の特徴について調べ、まとめる。	各10分	
				課題プリントを解く。	各20分	

	第４・５回	MONEY OR GREETING CARDS?	日米のお祝いの仕方の違いについて、理解する。	教科書 pp. 38-39を熟読する。	各10分	
				教科書 pp. 38-39の重要単語を習得する。	各20分	
	第６・７回	MONEY OR GREETING CARDS?	お祝い・カードに関する事柄を、英語で表現できる。	自分の理想のお祝いについて、まとめる。	各10分	
				課題プリントを解く。	各20分	
	第８・９回	WORKING YEAR ROUND	日米の休暇と働き方の違いについて、理解する。	教科書 pp. 50-51を熟読する。	各10分	
				教科書 pp. 50-51の重要単語を習得する。	各20分	
	第１０回	重要表現復習	挨拶、お祝い、仕事に関する英語表現ができる。	Lesson 7, 9, 12で学習した重要単語を見直す。	10分	
				課題プリントを見直す。	20分	
		定期試験				
秋学期	**第１回**	自己点検自己評価	答案返却。解説および自己点検			
				試験を見直す。	15分	
	第２・３回	WORKING YEAR ROUND	休暇・働き方に関する事柄を、英語で表現できる。	自分の理想の働き方について、まとめる。	各10分	
				課題プリントを解く。	各20分	
	第４・５回	DRIVING OR PUBLIC TRANSPORTATION?	日米の公共交通機関の違いについて、理解する。	教科書 pp. 58-59を熟読する。	各10分	
				教科書 pp. 58-59の重要単語を習得する。	各20分	
	第６・７回	DRIVING OR PUBLIC TRANSPORTATION?	公共交通機関に関する事柄を、英語で表現できる。	各国の交通事情について調べ、まとめる。	各10分	
				課題プリントを解く。	各20分	
	第８・９回	DRIVING OR PUBLIC TRANSPORTATION?	各国の交通機関について、知識を共有する。	各国の交通事情について調べ、まとめる。	各10分	
				課題プリントを解く。	各20分	
	第10・11回	AMERICAN FOOD	日米の食事の違いについて、理解する。	教科書 pp. 62-63を熟読する。	各10分	
				教科書 pp. 62-63の重要単語を習得する。	各20分	
	第12・13回	AMERICAN FOOD	食事、外食産業に関する事柄を、英語で表現できる。	各国の料理について調べ、まとめる。	各10分	
				課題プリントを解く。	各20分	
	第１４回	重要表現復習	交通機関、食事に関する英語表現ができる。	Lesson 14, 15で学習した重要単語を見直す。	10分	
				課題プリントを見直す。	20分	
		定期試験				
冬学期	**第１回**	自己点検自己評価	答案返却。解説および自己点検			
				試験を見直す。	15分	
	第２・３回	ANIME IN THE USA	日米のアニメの違いについて理解する。	教科書 pp. 70-71を熟読する。	各10分	
				教科書 pp. 70-71の重要単語を習得する。	各20分	
	第４・５回	ANIME IN THE USA	アニメ、マンガに関する事柄を、英語で表現できる。	外国で人気の日本製アニメについて調べ、まとめる。	各10分	
				課題プリントを解く。	各20分	
	第６・７回	POLITENESS	日米のマナーの違いについて、理解する。	教科書 pp. 82-83を熟読する。	各10分	
				教科書 pp. 82-83の重要単語を習得する。	各20分	

第８・９回	POLITENESS	マナーに関する事柄を、英語で表現できる。	各国独特のマナーについて調べ、まとめる。	各10分	
			課題プリントを解く。	各20分	
第１０回	POLITENESS	各国のマナーについて、知識を共有する。	各国独特のマナーについて調べ、まとめる。	10分	
			課題プリントを解く。	20分	
第11・12回	BATHROOMS: WET OR DRY?	日米の生活様式の違いについて、理解する。	教科書 pp. 98-99を熟読する。	各10分	
			教科書 pp. 98-99の重要単語を習得する。	各20分	
第13～15回	BATHROOMS: WET OR DRY?	日本の文化に関する事柄を、英語で表現できる。	日本独自のモノを紹介するＣＭを考え、まとめる。	各10分	
			課題プリントを解く。	各20分	
第１６回	重要表現復習	アニメ、マナー、作法に関する英語表現ができる。	Lesson 17, 20, 24で学習した重要単語を見直す。	10分	
			課題プリントを見直す。	20分	
	定期試験				

点検(自己評価):授業の達成目標に対しよく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

平成２７年度　学習支援計画書

科目名				クラス
世界事情Ⅱ				電気電子工学科　２年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**種別**	**担当教員**
選択	履修　2	通年	講義	宮野　肇

キーワード	科目概要
グローバル社会、文化的特徴、異文化、プレゼンテーション、多様性	英文テキストの中で取り上げられた国々についてその特徴を学んだ上で、自らテーマに沿って調べることで、理解と知識を深め、異文化への興味を高める。また、プレゼンテーションを通じて、知識の共有も図る。世界における文化の多様性を実感する機会とする。

教科書	参考書	関連する科目・資格
①「World Adventures」Scott Berlin, 小林めぐみ、KINSEIDO	指定なし	科目：世界事情Ⅰ 資格：

評価方法　（%）

評価項目	定期試験	課題	発表	授業態度			計	学年評価に対する割合
春学期	50	20	20	10			100	25
夏学期	50	20	20	10			100	25
秋学期	50	20	20	10			100	25
冬学期	50	20	20	10			100	25
学　年　評　価　（評価は春,夏,秋,冬学期で行い、通知表は春,夏,秋,学年評価で示す。）								100

備　考	各学期の評価で評価し、５０点に満たない者は補習する。 年度末の学年評価は各学期の評価に学期の割合を掛けたものの和とする。 定期試験の内容は，通常の学習の成果を測定することを主とする。 課題は各Chapterにつき１回行うものを評価する。 発表は各自年1回行うものを評価する。 授業態度は、授業中の積極性を測定する。

受講上のアドバイス

①授業中に配布した資料はファイルに保管すること。
②自分のプレゼンテーションの準備には余裕を持って取り組むこと。
③他の学生のプレゼンテーションを良く聞き、知識の共有を図ること。

科目の達成目標

①	他国の文化、風習などについての理解を深め、それらに関する語彙を身につけることができる。
②	外国の様々な文化と日本の文化との違いを認識し、広い視野と柔軟な考え方を持つことができる。
③	外国の文化に興味を持ち、自ら調べてまとめ、英語を用いて説明することができる。
④	それぞれの学生が調べた各国の文化に関する知識を、共有することができる。
⑤	グローバル社会を生きていく人材として、自分自身の考えを持つことができる。

関連する本校の学習・教育目標	国際性
問い合わせ・質問先	１階教員室（１０３室）
オフィスアワー	16:30～17:30

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回		授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 （上段:予習・下段:復習）	時間	点検
春学期	第１回	授業内容説明	授業内容について理解する。		―	
				シラバスの内容を再確認する。	10分	
	第２回	プレゼンテーションについて	授業中に行う個別発表の方法について理解できる。	プレゼンテーションに関するプリントを熟読する。	10分	
				自分のプレゼンテーションのテーマを決める。	20分	
	第３・４回	INDIA	インドのイメージを持つことができる。	Chapter 1を熟読する。	各10分	
				課題プリントを読み直し、理解を深める。	各20分	
	第５・６回	INDIA	インドの世界一についてまとめ、英語を用いて説明することができる。	インドの世界一のものを調べる。	各10分	
				まとめた内容を読み直し、理解を深める。	各20分	
	第７・８回	THAILAND	タイのイメージを持つことができる。	Chapter 3を熟読する。	各10分	
				課題プリントを読み直し、理解を深める。	各20分	
	第９・１０回	THAILAND	タイの公共交通機関についてまとめ、英語を用いて説明することができる。	タイの公共交通機関について調べる。	各10分	
				まとめた内容を読み直し、理解を深める。	各20分	
	第11・12回	VIETNAM	ベトナムのイメージを持つことができる。	Chapter 4を熟読する。	各10分	
				課題プリントを読み直し、理解を深める。	各20分	
	第13・14回	VIETNAM	ベトナムの観光地について調べ、英語を用いて説明することができる。	ベトナムの観光地について調べる。	各10分	
				まとめた内容を読み直し、理解を深める。	各20分	
	第15・16回	KOREA	韓国のイメージを持つことができる。	Chapter 5を熟読する。	各10分	
				課題プリントを読み直し、理解を深める。	各20分	
	第17・18回	KOREA	韓国の映画、ドラマについて調べ、英語を用いて説明することができる。	韓国の映画、ドラマについて調べる。	各10分	
				まとめた内容を読み直し、理解を深める。	各20分	
		定期試験				
	第１９回	自己点検自己評価	答案返却。解説および自己点検			
				試験を見直す。	15分	
	第２０回	ASIA	アジア各国の料理について調べ、英語を用いて説明することができる。	アジア各国の料理について調べる。	10分	
				まとめた内容を読み直し、理解を深める。	20分	
夏学期	第１・２回	FRANCE	フランスのイメージを持つことができる。	Chapter 6を熟読する。	10分	
				課題プリントを読み直し、理解を深める。	20分	

	第３・４回	FRANCE	フランスの食文化について調べ、英語を用いて説明することができる。	フランスの食文化について調べる。	各10分	
				まとめた内容を読み直し、理解を深める。	各20分	
	第５・６回	ITALY	イタリアのイメージを持つことができる。	Chapter 7を熟読する。	各10分	
				課題プリントを読み直し、理解を深める。	各20分	
	第７・８回	ITALY	イタリアのファッションについて調べ、英語を用いて説明することができる。	イタリアのファッションについて調べる。	各10分	
				まとめた内容を読み直し、理解を深める。	各20分	
	第９・１０回	DENMARK	デンマークのイメージを持つことができる。	Chapter 8を熟読する。	各10分	
				課題プリントを読み直し、理解を深める。	各20分	
		定期試験				
秋学期	**第１回**	自己点検自己評価	答案返却。解説および自己点検			
				試験を見直す。	15分	
	第２・３回	DENMARK	デンマーク製のモノを調べ、英語を用いて説明することができる。	デンマーク製のモノについて調べる。	各10分	
				まとめた内容を読み直し、理解を深める。	各20分	
	第４・５回	PORTUGAL	ポルトガルのイメージを持つことができる。	Chapter 9を熟読する。	各10分	
				課題プリントを読み直し、理解を深める。	各20分	
	第６・７回	PORTUGAL	ポルトガルのスポーツ選手を調べ、英語を用いて説明することができる。	ポルトガルのスポーツ選手について調べる。	各10分	
				まとめた内容を読み直し、理解を深める。	各20分	
	第８・９回	TURKEY	トルコのイメージを持つことができる。	Chapter 10を熟読する。	各10分	
				課題プリントを読み直し、理解を深める。	各20分	
	第10・11回	TURKEY	トルコの建築物について調べ、英語を用いて説明することができる。	トルコの建築物について調べる。	各10分	
				まとめた内容を読み直し、理解を深める。	各20分	
	第12・13回	EGYPT	エジプトのイメージを持つことができる。	Chapter 11を熟読する。	各10分	
				課題プリントを読み直し、理解を深める。	各20分	
	第１４回	EGYPT	エジプトの遺跡について調べ、英語を用いて説明することができる。	エジプトの遺跡について調べる。	10分	
				まとめた内容を読み直し、理解を深める。	20分	
		定期試験				
冬学期	**第１回**	自己点検自己評価	答案返却。解説および自己点検			
				試験を見直す。	15分	
	第２・３回	SOUTH AFRICA	南アフリカのイメージをもつことができる。	Chapter 12を熟読する。	各10分	
				課題プリントを読み直し、理解を深める。	各20分	

第４・５回	SOUTH AFRICA	アフリカで見られる野生動物について調べ、英語を用いて説明することができる。	南アフリカの	各10分	
			まとめた内容を読み直し、理解を深める。	各20分	
第６・７回	BRAZIL	ブラジルのイメージをもつことができる。	Chapter 13を熟読する。	各10分	
			課題プリントを読み直し、理解を深める。	各20分	
第８・９回	BRAZIL	ブラジルのカーニバル・音楽について調べ、英語を用いて説明することができる。	ブラジルのカーニバル・音楽について調べる。	各10分	
			まとめた内容を読み直し、理解を深める。	各20分	
第10・11回	PERU	ペルーのイメージをもつことができる。	Chapter 14を熟読する。	10分	
			課題プリントを読み直し、理解を深める。	20分	
第12・13回	PERU	ペルーの世界遺産について調べ、英語を用いて説明することができる。	ペルーの世界遺産について調べる。	各10分	
			まとめた内容を読み直し、理解を深める。	各20分	
第14～15回	南米・アフリカ	南米・アフリカの少数民族について調べ、英語を用いて説明することができる。	南米・アフリカの少数民族について調べる。	各10分	
			まとめた内容を読み直し、理解を深める。	各20分	
第１６回	南米・アフリカ	南米・アフリカの少数民族について調べ、英語を用いて説明することができる。	南米・アフリカの少数民族について調べる。	10分	
			まとめた内容を読み直し、理解を深める。	20分	
	定期試験				

点検(自己評価):授業の達成目標に対しよく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

平成２７年度　学習支援計画書

科目名				クラス
電気回路Ⅰ				電気電子工学科　２年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**種別**	**担当教員**
必修	履修　３	通年	講義	諸谷徹郎

キーワード	科目概要
交流回路、インピーダンス、フェーザ表示、共振回路	電気基礎で学んだ直流回路を復習した後、各種受動素子の組合せに周期的に繰り返す正弦波などの交流電源が接続された交流回路について学習する。交流の複素数表示やＲ、Ｌ、Ｃの各素子を組み合わせた直列回路、並列回路、直並列回路について学ぶ。三角関数による瞬時値表示、フェーザ表示などを用いた解法、共振回路、各種回路網の解法及び諸定理についても学習する。

教科書	参考書	関連する科目・資格
①「例題と演習で学ぶ電気回路」、服藤憲司、森北出版	「演習電気基礎 下」、電気基礎研究会編、東京電機大学出版局	科目：電気基礎、電気回路Ⅱ 資格：第３種電気主任技術者

評価方法　（%）

評価項目	定期試験	課題･宿題	小テスト	授業態度		各学期小計	計	学年評価に対する割合
春学期	50	20	20	10		100	100	25%
夏学期	50	20	20	10		100	100	25%
秋学期	50	20	20	10		100	100	25%
冬学期	50	20	20	10		100	100	25%
学　年　評　価　（評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。）								100

備　考	定期試験は各学期末に1回実施する 未提出の課題・宿題がある場合、評価しない 小テストは必要に応じて実施する 欠席、遅刻、居眠り、私語は減点の対象とする 注）成績不良の学生には、個別に課題を設けて指導、評価する場合がある

受講上のアドバイス

１年次の「電気基礎」では直流の電圧と電流の関係を学んだ。本科目では時間に対して大きさと方向が周期的に変化する交流について基本問題から応用問題を、説明を交えながら解説する。
理解が不足しているのであれば、心機一転改めて勉強してほしい。
ノートは本科目専用の物を使用すること。他の科目と共用しないこと。ルーズリーフ不可。

科目の達成目標

①	直流回路を復習し、直流回路に関する問題が解ける
②	正弦波交流とはどのようなものか理解できる
③	交流信号の複素数表示、極座標表示など各表示形式が理解できる
④	インピーダンスとはどのようなものか、またそれを用いた直並列回路の計算ができる
⑤	交流電力の計算ができる
⑥	各種解法を用いた交流回路の計算ができる

関連する本校の学習・教育目標	創造性、専門性
問い合わせ・質問先	1階119室(電気機械実験室)
オフィスアワー	月曜日8限（16:00～17:30）

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回		授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 （上段:予習・下段:復習）	時間	点検
春学期	第1～6回	直流回路復習	直流回路問題が解ける （分流、分圧とオームの法則）	「電気基礎」のノート確認、教科書p1からp19までを読む	20	
				授業ノートの内容確認	20	
	第7～12回		各種解法が理解できる （キルヒホッフの法則など）	「電気基礎」のノート確認、教科書p20からp43までを読む	20	
				授業ノートの内容確認	20	
	第13～18回	正弦波交流 基礎	三角関数、弧度法と正弦波交流について学ぶ	三角関数とは何か、事前に調べる	20	
				授業ノートの内容確認	20	
	第19～23回		正弦波交流と瞬時値、最大値、実効値、周波数などについて学ぶ	教科書p44からp47までを読む	20	
				授業ノートの内容確認	20	
	第24～28回		瞬時値に関する計算ができる	教科書p47からp52までを読む	20	
				授業ノートの内容確認	20	
	第29回	復習	第28回までの復習を行い、理解を深める	授業ノートの内容確認	20	
		定期試験				
	第30回	自己点検 自己評価	苦手な箇所を再確認し、克服する	試験の間違い見直し		
夏学期	第1～6回	交流の複素数表示	複素数の基礎を学ぶ	教科書p53からp61までを読む	20	
				授業ノートの内容確認	20	
	第7～15回		交流の複素数表示を学ぶ	教科書p62からp66までを読む	20	
				授業ノートの内容確認	20	
		定期試験				
秋学期	第1～9回	交流回路計算	インピーダンスを学ぶ 基本素子の交流回路を学ぶ	教科書p67からp78までを読む	20	
				授業ノートの内容確認	20	
	第10～21回		組合せ素子の回路を学ぶ	教科書p79からp97までを読む	20	
				授業ノートの内容確認	20	
		定期試験				
冬学期	第1～6回	交流回路計算	交流電力、共振回路を学ぶ	教科書p98からp119までを読む	20	
				授業ノートの内容確認	20	
	第7～16回	各種回路の解法	キルヒホッフの法則を用いた交流回路の計算を学ぶ	教科書p120からp129までを読む	20	
				授業ノートの内容確認	20	
	第17～24回		交流ブリッジ回路の計算を学ぶ	教科書p132からp136までを読む	20	
				授業ノートの内容確認	20	
		定期試験				

平成２７年度　学習支援計画書

科目名				クラス
電気磁気学Ⅰ				電気電子工学科　２年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**種別**	**担当教員**
必修	履修　3	通年	講義	表　義憲

キーワード	科目概要
静電力、電界、電位、抵抗温度係数、熱電気現象、静電容量、静電エネルギー	電気工学は全て電気と磁気の物理現象を応用している。電気磁気学Ⅰでは、静電気の物理現象を扱い、物理現象を数学的に表示し、数式表示の物理的意味を理解する。また、その諸量間の相互関係を把握し、その量的概念を習得する。これらの現象がどのように応用されるかを学習する。

教科書	参考書	関連する科目・資格
①　「やくにたつ電気磁気学[第３版]」平井紀光著　ムイスリ出版	①「電験三種受験講座１」新井芳明著　日本技能教育開発センター	①「電験三種受験講座１」新井芳明著 日本技能教育開発センター

評価方法　（%）

評価項目	定期試験	小テスト	演習･課題	授業態度			計	学年評価に対する割合
春学期	50	20	20	10			100	25%
夏学期	50	20	20	10			100	25%
秋学期	50	20	20	10			100	25%
冬学期	50	20	20	10			100	25%
学　年　評　価　（評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。）								100

備　考	各自がノートを用意し、授業中はノートをとる。毎回の小テストをノートに解答し、理解の程度を毎回評価する。演習や課題をノートに解答し、ノートは授業終了時に毎回提出する。定期試験や小テスト、演習、課題、授業態度などを総合して評価する。

受講上のアドバイス

授業中は各自がノートをとると講義に集中できる。現象を十分理解した法則は忘れません。課題や小テスト、紙上の実験といわれる演習をノートに解答して、毎回、授業終了時に提出する。ノートは年度末に小テスト・演習・課題・宿題のエビデンスとして回収する。

科目の達成目標

①	電荷間に働く力を理解できる。
②	電界の定義と大きさや方向を理解できる。
③	電位の定義を理解できる。
④	電気エネルギーや電力、電力量について理解できる。
⑤	静電容量の定義を理解できる。
⑥	コンデンサの直並列接続を理解できる。

関連する本校の学習・教育目標	人間性、基礎力、専門力
問い合わせ・質問先	２階31-218室(非常勤講師室)　不在時は２階31-208室・土地先生まで
オフィスアワー	水曜日　７限

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回		授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 （上段:予習・下段:復習）	時間 分/回	点検
春学期	第１～３回	ガイダンス 基礎数学	ノートの取り方と基礎数学が理解できる。			
				演習問題を解答する。	１０	
	第４～６回	静電気	静電気の正電荷と負電荷の性質を理解できる。	教科書Ｐ1～4を読み理解する。	１０	
				練習問題1-2を解答する。	１０	
	第７～９回	静電力	電荷間に働く力を理解できる。	教科書Ｐ5～6を読み理解する。	１０	
				練習問題1-3を解答する。	１０	
	第10～12回	クーロンの法則	点電荷による静電力の大きさと方向を理解できる。	教科書Ｐ7～8を読み理解する。	１０	
				練習問題1-4を解答する。	１０	
	第13～15回	電界	電界の定義と大きさや方向を理解できる。	教科書Ｐ11～13を読み理解する	１０	
				練習問題2-3を解答する。	１０	
	第16～18回	電気力線	電気力線の性質を理解できる。	教科書P16～17を読み理解する	１０	
				練習問題2-8を解答する。	１０	
	第19～21回	電束	電束の性質を理解できる。	教科書Ｐ18～20を読み理解する	１０	
				練習問題2-10を解答する	１０	
	第22～24回	ガウスの定理	ガウスの定理を理解できる。	教科書Ｐ21～25を読み理解する	１０	
				演習問題(1)1～3を解答する。	２０	
	第25～27回	まとめと演習	春学期で学習した範囲のまとめと演習ができる。	演習問題(1)4～6を解答する。	２０	
				演習問題(1)7～9を解答する。	２０	
		定期試験				
夏学期	第28～30回	自己点検 電位	春学期の学習点検を行う。電位の定義を理解できる。	教科書Ｐ31～32を読み理解する	１０	
				練習問題3-2を解答する。	１０	
	第１～３回	電位差	電位差を理解できる。	教科書Ｐ33～34を読み理解する	１０	
				練習問題3-5を解答する。	１０	
	第４～６回	平等電界	平行板間の電位差と電界を理解できる。	教科書Ｐ37～38を読み理解する	１０	
				練習問題3-6を解答する。	１０	
	第７～９回	電位の傾き	電位の傾きと電界を理解できる。	教科書Ｐ39～40を読み理解する	１０	
				練習問題3-10を解答する。	１０	
	第10～12回	等電位面	等電位面と電気力線について理解できる。	教科書Ｐ41～42を読み理解する	１０	
				演習問題(2)1～3を解答する	２０	
	第13～15回	まとめと演習	夏学期で学習した範囲のまとめと演習ができる。	演習問題(2)4～6を解答する。	２０	
				演習問題(2)7～9を解答する。	２０	

		定期試験				
		自己点検	夏学期の学習点検を行う。			
秋学期	**第１～３回**	電流	電流の定義について理解できる	教科書Ｐ47～49を読み理解する	１０	
				練習問題4-3を解答する。	１０	
	第４～６回	電気抵抗	電気抵抗について理解できる	教科書Ｐ50～51を読み理解す	１０	
				練習問題4-5を解答する。	１０	
	第７～９回	抵抗の温度係数	抵抗の温度係数について理解できる。	教科書Ｐ52を読み理解する。	１０	
				練習問題4-7を解答する。	１０	
	第10～12回	静電誘導	静電誘導について理解できる	教科書Ｐ53を読み理解する。	１０	
				練習問題4-8を解答する。	１０	
	第13～15回	誘電体	誘電体の性質を理解できる。	教科書Ｐ55～56を読み理解する	１０	
				練習問題4-9を解答する	１０	
	第16～18回	電力と電力量	電力と電力量について理解できる	教科書Ｐ57～59を読み理解する	１０	
				演習問題(3)1～3を解答する。	２０	
	第19～21回	まとめと演習	秋学期で学習した範囲のまとめと演習ができる。	演習問題(3)4～6を解答する。	２０	
				演習問題(3)7～9を解答する。	２０	
		定期試験				
冬学期	**第１～３回**	自己点検 静電容量	秋学期の学習点検を行う。静電容量の定義を理解できる。	教科書Ｐ71～73を読み理解する	１０	
				練習問題5-2を解答する。	１０	
	第４～６回	各種の静電容量	導体球と平行板の静電容量を理解できる。	教科書Ｐ74～75を読み理解する	１０	
				練習問題5-5を解答する。	１０	
	第７～９回	コンデンサの接続	コンデンサの直列と並列接続の性質を理解できる。	教科書Ｐ80～81を読み理解する	１０	
				練習問題5-12を解答する。	１０	
	第10～12回	コンデンサの直並列接続	コンデンサの直並列接続の合成容量を理解できる。	教科書Ｐ82～83を読み理解する	１０	
				練習問題5-13を解答する。	１０	
	第13～15回	複数誘電体	複数誘電体の静電容量を理解できる。	教科書Ｐ75～76を読み理解する	１０	
				練習問題5-7を解答する。	１０	
	第16～18回	静電エネルギー	コンデンサの静電エネルギーを理解できる。	教科書Ｐ83～86を読み理解する	１０	
				練習問題5-15を解答する。	１０	
	第19～21回	静電吸引力	平行板間に働く静電吸引力を理解できる。	教科書Ｐ87～88を読み理解する	１０	
				演習問題(4)1～3を解答する	２０	
	第22～24回	まとめと演習	冬学期で学習した範囲のまとめと演習ができる。	演習問題(4)4～6を解答する	２０	
				演習問題(4)7～9を解答する	２０	

			定期試験				
自己点検				冬学期の学習点検を行う。			

点検（自己評価）：よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

平成２７年度　学習支援計画書

科目名	クラス
計測工学	電気電子工学科　２年

必修・選択	単位数	開講学期	種別	担当教員
必修	履修　2	通年	講義	下谷俊昭

キーワード	科目概要
国際単位系、誤差、各種計器 電気諸量の計測方法	計測理論や実験計測技術の基礎的な学習をし、各種資格試験（例えば、電験３種）における電気計測・電子計測分野の理解と学習をレベル目標とする。単位系、測定誤差、アナログ計器とデジタル計器、電気諸量、応用計測の基礎等について学習する。

教科書	参考書	関連する科目・資格
①「新刊　電気・電子計測入門」中本　高道、実教出版 ②自作テキスト	①「電気・電子計測」菅　博ほか、朝倉書店 ②「絵ときでわかる電気電子計」	科目：電気磁気学、電気回路、電子工学 資格：電気関連全ての資格試験

評価方法　（%）

評価項目	各種試験・小テスト	課題・宿題	授業態度	出席状況		計	学年評価に対する割合
春学期	７０	２０	5	5		100	３３%
夏学期	７０	２０	5	5		100	１７%
秋学期	７０	２０	5	5		100	２３%
冬学期	７０	２０	5	5		100	２７%
学　年　評　価　（評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。）							100

備　考	各種試験・小テストは、普段の学習成果を測定する。 課題・宿題は、家庭での努力を測定する。 授業態度は、授業中の質問に対する発表、授業に対する真剣度を評価する。 出席状況は、授業に対する積極性として評価する。

受講上のアドバイス

①本科目で取り扱う内容は、工学を学ぶ上での基礎となるため重要です。わからないことがあれば、そのままにせず、積極的に質問するようにして下さい。
②演習や宿題は、出来る限り学生自身で挑戦し、積極的に参考図書で調べ、解答すること。
③配布プリントを綴じるためのファイルを用意すること。

科目の達成目標

①	“国際単位系、接頭語、有効数字”の項、理解できる。
②	“各種指示計器” の項、理解できる。
③	“直流電圧・電流（倍率器、分流器）” の項、理解できる。
④	“抵抗・インピーダンス（各種ブリッジ）” の項、理解できる。
⑤	“電力の測定” の項、理解できる。
⑥	“周波数・位相（オシロスコープ” の項、理解できる。

関連する本校の学習・教育目標	基礎力
問い合わせ・質問先	２階３１・２１８　　不在時は１階教員室・宮野先生まで
オフィスアワー	特に設けません。講義後に予約して下さい。

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回		授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 （上段:予習・下段:復習）	時間	点検
春学期	第１～２回	国際単位系と接頭語	国際単位系と接頭語を理解できる。			
				授業項目箇所を熟読する。	２０	
	第３～４回	測定値の取り扱いと有効数字	測定値の丸めや有効数字を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第５～６回	精度と誤差	精度と誤差を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第７～８回	電気計器の概要	アナログ・デジタル計器の概要を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第９～１０回	可動コイル形指示計器	可動コイル形指示計器の構成と原理を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第11～１２回	倍率器、分流器	電圧、電流の測定範囲を広げる倍率器、分流器を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第13～１４回	可動鉄片形指示計器	可動コイル形指示計器の構成と原理を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第15～16回	電流力計、熱電対形指示計器	電流力計、熱電対形指示計器の構成と原理を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第17～18回	静電形、整流形指示計器	静電形、整流形指示計器の構成と原理を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
		定期試験				
	第１９回	自己点検	春学期で学習した内容の中で理解不十分な箇所を見つけ、克服することができる。			
				試験の間違った問題を見直す。	２０	
	第２０回	検流計	検流計の構成と原理を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
夏学期	第１～２回	電位差計	電位差計の構成と原理を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第３～４回	テスタ、デジタルマルチメータ	テスタ、デジタルマルチメータの構成と原理、使用方法を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第５～６回	直流電圧・電流の測定	直流回路の電圧・電流の測定方法を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第７～８回	交流電圧・電流の測定	交流回路の電圧・電流の測定方法を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	

	第９～１０回	電位降下法による抵抗測定	電位降下法による抵抗測定を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
		定期試験				
秋学期	第１～２回	ブリッジ法による抵抗測定	ブリッジ法による抵抗測定を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第３～４回	低抵抗・高抵抗の測定	低抵抗・高抵抗の測定法を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第５～８回	インピーダンスの測定	各種交流ブリッジによるインピーダンスの測定法を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第９～10回	デジタルインピーダンスメータ	デジタルインピーダンスメータの測定法を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第11～12回	直流電力の測定	直流電力の測定法を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第13～14回	交流電力の測定	交流電力の測定法を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
		定期試験				
冬学期	第１回	自己点検	秋学期で学習した内容の中で理解不十分な箇所を見つけ、克服することができる。			
				試験の間違った問題を見直す。	２０	
	第２回	三相電力の測定	三相電力の測定法を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第３～４回	周波数と位相の測定	周波数と位相の測定法を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第５～８回	オシロスコープ	オシロスコープの原理と構成・同期方法を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第９～10回	オシロスコープの使用方法	オシロスコープの使用方法を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第11～12回	リサージュ図形	リサージュ図形の描き方	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第13～14回	リサージュ図形による測定	リサージュ図形による周波数・位相の測定法を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
	第15～16回	計測技術と計測システム	センサ、遠隔測定、スマートグリッド、スマートメータ等を理解できる。	授業項目箇所を熟読する。	２０	
				授業項目箇所の問題を解く。	２０	
		定期試験				

点検（自己評価）:よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

平成２７年度　学習支援計画書

科目名				クラス
情報工学Ⅱ				電気電子工学科　２年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**種別**	**担当教員**
必修	履修　2	通年	講義	藤島悟志

キーワード	科目概要
基数変換，論理式， 論理回路，アルゴリズム， C言語	コンピュータ基礎概論をハードウェアとソフトウェアの両面から学習する．ハードウェアとしては計算機の構成とその動作原理を理解することを目標とし，データの表現形式，論理回路と論理式，各装置の構成と役割の理解を目指す．さらにプログラム作成手順と流れ図を学習した後，C言語の基礎について学習する．

教科書	参考書	関連する科目・資格
①「2級情報技術検定試験　標準問題集」全工協会，コロナ社	①「C言語プログラミングレッスン」結城 浩，ソフトバンクパブリッシング	科目：情報工学Ⅰ，デジタル回路， システム制御 資格：情報技術検定2級

評価方法　（%）

評価項目	定期試験	演習課題	小テスト	学習態度			計	学年評価に対する割合
春学期	50	20	20	10			100	25
夏学期	50	20	20	10			100	25
秋学期	50	20	20	10			100	25
冬学期	50	20	20	10			100	25
学　年　評　価　（評価は春，夏，秋，冬学期で行い、通知表は春，夏，秋，学年評価で示す。）								100

備　考	演習課題を各自で成し遂げたかを重視するため，小テストおよび定期試験は基本的に演習課題が理解できているかを評価する．演習課題および小テストはほぼ毎週実施する．両評価合計が成績の4割を占めていることをしっかり理解して，取り組むこと． 資格試験の合否によって小テスト評価に加点を行う． 授業態度が悪い場合や進行に障害をもたらす場合は評価項目によらず50点を限度に減点する．

受講上のアドバイス

①ノートは板書に加えて，必要と感じたこと書きとめ，自ら課題を発見するように心がける
②演習課題には必ず納得するまで取り組み，課題は期限内に必ず提出すること
③原則，学習支援計画書を基準として講義するが理解度などによって講義内容の調整を行うことがある
④1月実施の情報技術検定2級の取得を目標に取り組むこと

科目の達成目標

①	2進数の演算ができる．
②	2進数，16進数，10進数の基数変換ができる．
③	コンピュータの基本構成が説明できる．
④	論理回路をもとに真理値表が書ける．
⑤	基本的なフローチャートの流れを理解できる．
⑥	フローチャートに従って，簡単なC言語プログラムが作成できる．

関連する本校の学習・教育目標	専門力，創造性
問い合わせ・質問先	2階208室
オフィスアワー	16:30～17:30

クラス番号＿＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回		授業項目	授業の達成目標	授業の学習課題 （上段:予習・下段:復習）	時間 (分/回)	点検
春学期	第１～２回	数の表現	小数を含む基数変換ができる	情報工学Ⅰの基数を見直す	20	
				宿題（基数変換）を行う	15	
	第３～４回	2進数の演算	2進数の加減算と乗算ができる	基数変換を見直す	15	
				宿題（2進数演算）を行う	15	
	第５～６回		補数と整数表示ができる	2進数演算を見直す	15	
				これまでの内容を復習する	15	
	第７～８回	論理回路	論理回路の真理値表を理解し 作成できる	基数変換や演算を見直す	20	
				宿題（論理回路）を行う	15	
	第９～10回	論理式	論理代数の公理を理解し， 論理式を簡単化できる	論理回路を見直す	15	
				宿題（論理式）を行う	15	
	第11～12回	コンピュータの 基本回路	加算，組合せ回路が理解できる	論理式を見直す	15	
				宿題（加算回路）を行う	15	
	第13～14回		フリップフロップ回路が 理解できる	加算・組合せ回路を見直す	15	
				宿題（FF回路）を行う	15	
	第15～16回			FF回路を見直す	15	
				これまでの内容を再確認する	30	
		定期試験				
	第17～18回	自己点検および コンピュータの 構成と働き	コンピュータの基本構成が理解できる	教科書pp.25-32を熟読する	15	
				宿題（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ構成）を行う	15	
夏学期	第１～２回	ソフトウェアの 知識	OSの目的と構成および言語処理プログラムとコンパイルが理解できる	教科書pp.25-40を熟読する	15	
				宿題（ｿﾌﾄｳｪｱ構成）を行う	15	
	第３～４回	アルゴリズム 1	直線型・分岐型・繰り返し型の基本について理解できる	教科書p.59を熟読する	15	
				宿題（流れ図基本型）を行う	15	
	第５～６回	C言語 1	データ入出力と計算および基本データ型のプログラム例	流れ図基本型を見直す	15	
				教科書pp.87-88の演習を行う	15	
	第７～８回		制御文（if 文）のプログラミングができる	教科書pp.85-89を熟読する	15	
				宿題（if文）を行う	15	
	第９～10回		制御文（for 文，while文）のプログラミングができる	if文を見直す	15	
				これまでの内容を再確認する	30	
		定期試験				
	第11回	自己点検	答案返却・解説および自己点検	－		－
				試験で間違った問題を見直す	15	

秋学期	第１～２回	アルゴリズム 2	多分岐型と関連するC言語が理解できる	while文を見直す	15	
				宿題（多分岐）を行う	15	
	第３～４回		多重ループ型と関連するC言語が理解できる	多分岐とプログラムを見直す	15	
				宿題（多重ループ）を行う	15	
	第５～６回		トレースとサブルーチンが理解できる	多重ループを見直す	15	
				宿題（トレース）を行う	20	
	第７～８回		一次元配列と二次元配列と関連するC言語が理解できる	トレースを見直す	15	
				宿題（配列）を行う	20	
	第９～10回	C言語 2	配列のプログラミングができる	配列を見直す	15	
				宿題（配列：C言語）を行う	20	
	第11～12回	アルゴリズム 3	探索アルゴリズムと関連するC言語が理解できる	配列：C言語を見直す	20	
				宿題（探索）を行う	20	
	第13～14回		並べ替えアルゴリズムと関連するC言語が理解できる	探索を見直す	20	
				これまでの内容を再確認する	30	
		定期試験				
冬学期	第１～２回	自己点検と総合演習	答案返却・解説およびアルゴリズムとC言語の総合理解ができる	－	0	
				宿題（7章章末問題）を行う	30	
	第３～４回	総合演習	アルゴリズムとC言語の総合理解ができる	7章章末問題を見直す	20	
				苦手な項目を見直す	20	
	第５～６回		情報技術検定2級の模擬テストを行い，資格試験に備える	苦手な項目を見直す	20	
				宿題（検定過去問）を行う	50	
	第７～８回			苦手な項目を見直す	15	
				苦手な項目を見直す	15	
	第９～10回	C言語演習	条件分岐，繰返し，配列，関数に関する基礎的なC言語プログラムが記述できる	第7章をもう一度見直す	15	
				宿題（分岐，繰返し）を行う	20	
	第11～12回			C言語の基礎を見直す	20	
				宿題（配列，関数）を行う	15	
	第13～14回			C言語の基礎を見直す	20	
				前宿題の続きを行う	20	
	第15～16回			C言語の基礎を再確認する	20	
				これまでの内容を再確認する	20	
		定期試験				
	第17回	自己点検	答案返却・解説および年間の授業と修学成果について自己点検	－	0	－
				テストで間違えた内容を見直す	15	

点検(自己評価):授業の達成目標に対しよく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

平成２７年度　学習支援計画書

科目名				クラス
コンピュータⅡ				電気電子工学科　２年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**種別**	**担当教員**
必修	履修　2	通年	講義	南出章幸・ボラジ オグントインボ

キーワード	科目概要
プログラミング基礎 Visual Basic .NET C言語	1年次に学んだアルゴリズムを基礎としてプログラミング技術を身につける。前半ではVisualBasic.NETで分岐処理，繰り返し処理の構文を理解できると共に、プログラミングに慣れる。後半ではC言語でプログラミングをおこなう。本科目では、2つの言語でプログラミングの作成過程を理解し、簡単なプログラミングが作成できるようになることを目標にする。そのために演習中心の授業形態とする。なお、出題する問題および演習中の質問の回答は英語の場合もある。

教科書	参考書	関連する科目・資格
①「学生のためのVisualBasic.NET」若山芳三郎，東京電機大学出版局	①「アルゴリズム入門」瀬戸村勝利，日本実業出版社 ②「Cの絵本」（株）アンク，翔泳社	科目：情報工学Ⅱ 資格：情報技術検定２級

評価方法　（%）

評価項目	試験	演習・課題	学習態度				計	学年評価に対する割合
春学期	40	40	10				100	33
夏学期	40	40	10				100	17
秋学期	40	40	10				100	23
冬学期	40	40	10				100	27
学　年　評　価　（評価は春,夏,秋,冬学期で行い、通知表は春,夏,秋,学年評価で示す。）								100

備　考	
	１．試験、課題、学習態度（出席状況を含む）を総合して評価を行う。 ２．提出期限に遅れた課題は減点される。未提出の課題が多い場合は、［演習・宿題］点および［学習態度］点を０点として処理する。 ３．課題の不正（他人のコピーなど）が見つかった場合は、コピーをした学生およびコピー元の学生の［演習・宿題］点および［学習態度］点を０点として処理する。 ４．試験はパソコン室で実技試験を行うこともある。

受講上のアドバイス

①　「情報工学Ⅱ」の授業内容をよく理解しておくこと。
②　演習問題や課題が多いので、特に授業中は積極的に取り組むこと。
③　試験は実技試験にすることもあるので、日頃の演習、課題に積極的に取り組み、分からなければ質問すること。

科目の達成目標

①	ＶＢの簡単なフォームを作成できる。
②	ＶＢの簡単なプログラムを作成できる。
③	Ｃ言語の簡単なプログラムを作成できる。
④	Ｃ言語のコンパイルや実行ができる。
⑤	ｉｆ文、ｆｏｒ文、ｗｈｉｌｅ文などの制御構造を使い分けることができる。
⑥	コンパイルエラーが出たとき、ほぼ自分で修正できる。

関連する本校の学習・教育目標	専門力，創造性
問い合わせ・質問先	3階314室（南出研）
オフィスアワー	火曜日８限

クラス番号＿＿＿＿　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回		授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 （上段：予習・下段：復習）	時間 （分/回）	点検
春学期	第１～２回	VisualBasic.NETの体験	VB.NETの概要を説明できる。	―		
				教科書の該当箇所の読み直し	15	
	第３～４回	簡単な計算	簡単な計算をするプログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第５～６回	変数の使い方	変数を使った簡単なプログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第７～８回	関数計算	算術関数を使ったプログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第９～10回	分岐処理（１）	分岐処理プログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第11～12回	分岐処理（２）	分岐処理プログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第13～14回	繰り返し処理（１）	繰り返し処理プログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第15～16回	繰り返し処理（２）	繰り返し処理プログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第17～18回	総合演習	第１回から第８回までの内容に関して理解を深める。	これまでの内容を整理	20	
				問題集の章末問題を解く	20	
		定期試験				
	第19～20回	自己点検	答案返却、その解説および自己点検。	―	0	
				試験で間違えたところを再度見直す	20	
夏学期	第１～２回	C言語プログラミングの基礎	C言語の概要を説明できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第３～４回	変数と出力関数	変数と出力関数を使用したプログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第５～６回	入力関数	scanfを使ったプログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第７～８回	分岐処理（１）	if文を使った分岐処理プログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第９～10回	分岐処理（２）	if文を使った分岐処理プログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
		定期試験				
	第11～12回	自己点検	答案返却、その解説および自己点検。	―	0	
				試験で間違えたところを再度見直す	20	

秋学期	第１～２回	分岐処理（３）	多分岐処理プログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第３～４回	分岐処理（４）	多分岐処理プログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第５～６回	繰り返し処理（１）	while文による繰り返し処理プログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第７～８回	繰り返し処理（２）	while文による繰り返し処理プログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第９～10回	繰り返し処理（３）	for文による繰り返し処理プログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第11～12回	繰り返し処理（４）	for文による繰り返し処理プログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第13～14回	デバッグ（１）	他人の作ったプログラムを読み、デバッグできる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
		定期試験				
冬学期	第１～２回	自己点検	答案返却、その解説および自己点検。	―	15	
				試験で間違えたところを再度見直す	15	
	第３～４回	デバッグ（２）	他人の作ったプログラムを読み、デバッグできる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第５～６回	デバッグ（３）	他人の作ったプログラムを読み、デバッグできる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第７～８回	デバッグ（４）	他人の作ったプログラムを読み、デバッグできる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第９～10回	配列（１）	１次元配列を用いたプログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第11～12回	配列（２）	１次元配列を用いたプログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第13～14回	配列（３）	２次元配列を用いたプログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
	第15～16回	配列（４）	２次元配列を用いたプログラムが作成できる。	教科書の該当箇所の説明を熟読	15	
				教科書の該当箇所を解く	15	
		定期試験				
	第17～18回	自己点検	答案返却、その解説および自己点検。	―	0	
				試験で間違えたところを再度見直す	20	

点検(自己評価) : 授業の達成目標に対し、 よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない

平成２７年度　学習支援計画書

科目名				クラス
創造実験II				電気電子工学科　２年
必修・選択	**単位数**	**開講学期**	**種別**	**担当教員**
必修	履修　2	通年	実技	伊藤　周・ハヤト　オガワ・諸谷　徹郎

キーワード	科目概要
電子素子の特性測定 オシロスコープ 交流 共振現象 センサー制御	工学の基礎を固めるため、「測定」と「ものづくりの基礎」を２本柱として実験を行う。「測定」では、交流及び直流の電圧や電流の測定方法、データの処理方法、オシロスコープの使い方等を学ぶ。「ものづくりの基礎」では、パソコンによる回路シミュレーション、電波を受信するためのＬＣ共振回路の製作、トランジスタやＩＣを用いた制御回路の製作を行い、システムアップの基礎を学ばせるためにライントレーサの製作を行う。

教科書	参考書	関連する科目・資格
「創造実験II」、金沢工業高等専門学	①「電気・電子計測」、三好正二、東京電機大学 ②「電子工作入門」、後閑哲也、電子評論社	科目：創造実験I 資格：第２種電気主任技術者

評価方法　（%）

評価項目	実験報告書	製作物	学習態度	出席状況			計	学年評価に対する割合
春学期	35	35	20	10			100	25
夏学期	35	35	20	10			100	25
秋学期	35	35	20	10			100	25
冬学期	35	35	20	10			100	25
学　年　評　価　（評価は春, 夏, 秋, 冬学期で行い、通知表は春, 夏, 秋, 学年評価で示す。）								100

備　考	製作物、課題および報告書を主に評価するが、取り組み態度や出席状況も勘案して評価する。担当教員の評価を平均して評価する。 実験報告書や課題の未提出の場合は当該科目の単位を認定しない。 著しく学習態度が悪い場合は他の評価に関わらず当該科目の単位を認定しない。

受講上のアドバイス

① 指導書等を参考に、実験の意義を理解し、自分で考えて実験を実施することが重要である。
② 製作物が正常に動作しない原因のほとんどは自身の作業ミスであり、自身で発見できるものである。
③ 製作物は必ず完成させ、報告書とともに提出すること。

科目の達成目標

①	直流および交流の電圧や電流が測定できる。
②	デジタルオシロスコープを用いて電気信号の観測ができる。
③	共振現象が理解できる。
④	Yenkaソフトを使ってライントレーサの回路シミュレーションができる。
⑤	ライントレーサを製作することができる。
⑥	ライントレーサの改善のために創意工夫が行える。

関連する本校の学習・教育目標	専門力、基礎力
問い合わせ・質問先	１階１１８室・伊藤、１階１１９室・ハヤト、諸谷
オフィスアワー	金曜日８限目

クラス番号＿＿＿＿　　氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

回		授業項目	授業の到達目標	授業の学習課題 （上段：予習・下段：復習）	時間 （分/回）	点検
春学期	第１～２回	ガイダンスと実験の基礎	レポートの作成方法、抵抗のカラーコードの読み方を身につける	実験指導書p. 1-1～1-2の熟読	15	
				カラーコードの復習	15	
	第３～４回	実験の基礎	ブレッドボードの使い方を身につける ハンダの使い方を身につける	実験指導書p. 1-2～1-3の熟読	15	
	第５～６回		オームの法則の実験を行い、レポートを作成する	実験指導書p. 2-1の熟読	15	
				レポート作成方法の復習	15	
	第７～８回	交流の測定	交流の電圧、電流、電力の測定法がわかる	実験指導書p. 2-1の熟読	15	
				実験方法の復習	15	
	第９～１０回			実験指導書p. 2-2の熟読	15	
				実験方法の復習	15	
	第１１～１２回			実験指導書p. 2-3の熟読	15	
				実験方法の復習	15	
	第１３～１４回	時間的に変動する信号を図る	オシロスコープの取り扱いができる	実験指導書p. 3-1～3-2の熟読	15	
				課題1-1-1～1-1-4の実施	15	
	第１５～１６回			事前課題1-1-5の実施	15	
				課題1-2-1～1-2-5の実施	15	
	第１７～１８回			事前課題1-2-6の実施	15	
				課題の実施	15	
	第１９～２０回	電波をつかむ	共振現象によってラジオを聞くことができる	実験指導書p. 5-1の熟読	15	
				実験方法の復習	15	
夏学期	第１～２回			実験指導書p. 5-2の熟読	15	
				実験方法の復習	15	
	第３～４回			実験指導書p. 5-3の熟読	15	
				実験方法の復習	15	
	第５～６回	パソコンによる回路シミュレーション	パソコンを用いて回路シミュレーションを行うことができる	実験指導書p6-1~6-5の熟読	15	
				実験内容の復習	15	
	第７～８回			コンピュータを使った制御機器の調査	15	
				実験内容の復習	15	
	第９～１０回			実験指導書p6-4～6-5の再読	15	
				実験内容の復習	15	
	第１１回	ライントレーサの製作	ライントレーサ製作の過程を理解できる	実験指導書p7-1～7-2の熟読	15	
				実験内容の復習	15	

秋学期	第１～２回	ライントレーサの製作	ブレッドボード上に電子回路を製作できる	実験指導書p7-1の再読	15	
				実体配線図の清書	15	
	第３～４回			トランジスタ動作の復習	15	
				課題の実施	15	
	第５～６回			実験指導書p7-2～7-4の熟読	15	
				電子回路の製作	15	
	第７～８回		製作した回路を車体に組み込み、コースを完走できるライントレーサを製作する	取扱説明書の熟読	15	
				動作の確認	15	
	第９～１０回			電子回路の動作確認	15	
				組み込んだ電子回路の動作確認	15	
	第１１～１２回			電子回路の動作確認	15	
				組み込んだ電子回路の動作確認	15	
	第１３～１４回			ライントレーサの動作確認	15	
				改善方法の考案	15	
冬学期	第１～２回	ライントレーサの製作	より早くコースを完走できるように、ライントレーサを調整し、改善できる	改善方法の考案	15	
				ライントレーサの動作確認	15	
	第３～４回			改善方法の考案	15	
				ライントレーサの動作確認	15	
	第５～６回			改善方法の考案	15	
				ライントレーサの動作確認	15	
	第７～８回			改善方法の考案	15	
				ライントレーサの動作確認	15	
	第９～１０回			改善方法の考案	15	
				ライントレーサの動作確認	15	
	第１１～１２回		発表資料を作成できる			
				発表用パワーポイント資料の作成	15	
	第１３～１４回		発表を行える	発表用パワーポイント資料の作成	15	
	第１５～１６回		車体の解体と清掃を行う			
	第１７回	自己点検・自己評価				

点検(自己評価)： 授業の達成目標に対し、 よく理解できた ← Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ → まったくわからない